

## 『慈光』総目次

巻数	号数	発行年月日	頁	筆者	題名
第1巻	第1号	1949（昭和24）年4月1日	2	花田正夫	発刊の挨拶
			4	無記名記事	宗教的同朋 信仰余瀝より
			6	山下成一	簡明なる信仰
			8	能戸得一	遠く宿縁を慶ぶ
			9	無記名記事	好人浅原才市翁のうた
			10	無記名記事	あとがき
第1巻	第2号	1949（昭和24）年5月15日	2	無署名記事	唯仏の智見 故近角常観先生述
			5	山下成一	信仰はそれ自身が目的である
			7	伊藤寅男	不可思議のことども
			8	渡辺哲太郎	私の信に入るまでの経路
第1巻	第3号	1949（昭和24）年6月15日	1	故・池山栄吉	私の入信の経路
			9	山下成一	悪魔は蓮糸の腔にかくれる
			10	増山銀治	所感いろいろ
			12	無署名記事	あとがき
第1巻	第4号	欠号			
第1巻	第5号	1949（昭和24）年8月15日	1	白井成允	無碍の一道
			6	山下成一	罪悪感と煩悶
			7	椎葉勝一	引揚後の三年を顧みて
			10	花田正夫	信の旅行く人々
第1巻	第6号	1949（昭和24）年9月15日	1	白井成允	無碍の一道
			5	山下成一	懺悔の悲しみと後悔の苦しみ
			8	藤等影	回顧四十余年
			10	花田正夫	信の旅行く人々

## 『慈光』総目次

第1巻	第7号	1949（昭和24）年10月15日	1	故・池山栄吉	たゞ念仏して
			5	中野駿太郎	善悪問題の解決
			8	山下成一	定散の影消えやらず
			10	三瓶徳英	御聖教の御導き
第1巻	第8号	1949（昭和24）年11月15日	1	無記名記事	世間仮#唯仏是真(故近角先生常観先生御法話)
			5	山下成一	信は道の元・功德の母なり
			8	松村繁雄	仰ぎましょうよ、慈光
			10	花田正夫	信の旅行く人々
第1巻	第9号	1949（昭和24）年12月15日	1	故・近角常観	相对解消の本源
			4	山下成一	思いを越えた罪悪
			7	故・渡辺知空	近角常観先生を偲ぶ
			9	松村繁雄	仰ぎましょうよ、慈光
			12	藤崎英之助	恩師の御筆跡を縁として
第2巻	第1号	1950（昭和25）年1月15日		花田正夫	年頭の挨拶
			1	故・近角常観師	思想の徹底と建現
			10	中野駿太郎	知と行
			12	那須行英	真実救済と勅命
			1	山下成一	仏陀論
第2巻	第2号	1950（昭和25）年2月15日	4	故・波岡茂輝	歎異抄讃仰
			6	松村繁雄	仰ぎましょうよ慈光
			11	花田正夫	聖人の常の仰
			1	故・安波勲八	信仰体験録
第2巻	第3号	11950（昭和25）年3月15日	7	山下成一	感恩即報恩
			10	松村繁雄	仰ぎましょうよ慈光
			13	柳川平七	入信の経路

## 『慈光』総目次

第2巻	第4号	1950（昭和25）年3月15日	1	白井成允	正信念仏偈意識
			7	丸尾猪太郎	思い出ずるまゝ
			10	出淵勝郎	解信より仰信への経路
			13	竹内幸子	臨終間近き母の病床にはべりて
第2巻	第5号	1953（昭和28）年2月15日	1	花田正夫	仏陀の知恵をたまわりて
			7	福島政雄	大無量寿経講話
			11	聚墨生	随想断片
第2巻	第6号	1950（昭和25）年6月15日	1	社説	見仏所得の功德により衆生の煩惱悪心を破壊す
			3	花田正夫	法水満々たり
			6	白井成允	釈尊の降誕を祝して
			12	無記名記事	信味点滴
第2巻	第7号	1950（昭和25）年7月15日	1	近角常観	求道的意義に於ける横超金剛心の体験
			4	花田正夫	ながく生死をへだてける
			7	山下成一	薄紙一枚がと邪定聚唯歎じ
			10	松村繁雄	仰ぎましようよ慈光
			14	無記名記事	信味点滴
第2巻	第8号	1950（昭和25）年8月15日	1	無記名記事	法然聖人の常の法語
			2	花田正夫	法然聖人の獲信
			4	中野駿太郎	笑って餓死する
			7	松村繁雄	今は亡き長男文男と語る
			10	麻生介	疾病と求道
			14	編者	信味点滴
第2巻	第9号	1950（昭和25）年9月15日	1	無記名記事	蓮如上人御一代聞書抄
			2	花田正夫	仏法を聞く心
			7	波岡茂輝	念仏は総てなり
			14	無記名記事	波岡氏遺詠

『慈光』総目次

第2巻	第10号	1950（昭和25）年10月15日	1	無記名記事	至心・信楽・欲生の聖人の御自釈
			2	白井成允	如来の作願
			8	山下成一	法喜に思い上げる心
			11	三瓶徳英	愛別離苦を縁として
			13	編者	信味点滴
第2巻	第11号	1950（昭和25）年11月15日	1	無記名記事	歎異抄第一・第六条
			2	池山栄吉	麗容の聖人
			7	福島政雄	人生と信仰
			13	編者	信味点滴
第2巻	第12号	1950（昭和25）年12月15日	2	福島政雄	人生と信仰
			8	丸尾猪太郎	塩飽島参詣の記
			12	編者	信味点滴
第3巻	第1号	1951（昭和26）年1月15日	1	無記名記事	太子憲法第一・二・十条
			2	社説	聖徳太子の和の悲願
			8	花田正夫	不和に対する世尊の慈訓
			13	福島政雄	善人と悪人
第3巻	第2号	1951（昭和26）年2月15日	1	花田正夫	舎衛城の悲劇とカピラ城の滅亡
			5	白井成允	大悲心の成就
			12	編者	信味点滴
第3巻	第3号	1951（昭和26）年3月15日	1	無記名記事	教行信証総序
			2	花田正夫	速に生死を離るる道
			7	福島政雄	歎異抄十三章讃仰
			13	白井成允	大悲心の成就（補遺）
			14	編者	「信仰静観録」出版に就いて

## 『慈光』総目次

第3巻	第4号	1951（昭和26）年4月15日	1	花田正夫	久遠の夜
			4	福島政雄	歎異抄第八・九章講話
			7	山下成一	無碍の一道
			9	松村繁雄	よろこぶ力なき故にこそ
			13	蓬戸閑人	信味点滴
第3巻	第5号	1951（昭和26）年5月15日	1	花田正夫	聖徳太子を讃仰し奉る
			5	近角常観	信仰徹底懺悔談
			8	福島政雄	歎異抄八・九章講話
			12	中野駿太郎	苦より楽へ
第3巻	第6号	1951（昭和26）年6月15日	1	花田正夫	仏かねてしろしめして
			3	福島政雄	歎異抄八・九章講話（三）
			8	故・安波勲八	随想断片
			11	無記名記事	ジャータカ物語 六牙の白象
第3巻	第7号	1951（昭和26）年7月15日	1	花田正夫	心を弘誓の仏地に樹て念を難思の法海に流す
			3	福島政雄	歎異抄十六章講話
			11	故・清水清吉	聞光録
第3巻	第8号	1951（昭和26）年8月15日	1	無記名記事	横川法語と一枚起請文
			2	花田正夫	常に背にある光 超世の悲願
			6	三瓶徳英	ただいまの私
			9	榊原徳草	よきひとの仰こうふりて
			21	清水清吉	随想断片
第3巻	第9号	1951（昭和26）年9月15日	1	無記名記事	み仏を讃えまつる
			2	花田正夫	超世のひかり
			6	福島政雄	聖親鸞を語る
			9	波岡茂輝	わが児
			21	蓬戸閑人	尼提の救済

## 『慈光』総目次

第3巻	第10号	1951（昭和26）年10月15日	1	無記名記事	専信尼公文書
			2	花田正夫	難陀の救済
			6	福島政雄	聖親鸞を語る
			12	中野駿太郎	真実の浄信
第3巻	第11号	1951（昭和26）年11月15日	1	無記名記事	聖語集
			2	花田正夫	信仰と生活
			7	福島政雄	聖親鸞を語る
			12	松本解雄	念仏のたのもしさ
第3巻	第12号	1951（昭和26）年12月15日	13	出淵勝郎	真実
			1	近角常観	人生問題の解決は真信の満足より建現す
			6	福島政雄	法華経讃仰
第4巻	第1号	1952（昭和27）年1月15日	13	花田正夫	慈光録
			1	花田正夫	南無阿弥陀仏の発見
			5	福島政雄	太子と仏教
第4巻	第2号	1952（昭和27）年2月15日	11	清水清吉	聞光抄（春光の部）
			1	花田正夫	人類救済の曙光
			9	中野憲二	恩師の霊前に蹲きて
第4巻	第3号	1952（昭和27）年3月15日	11	清水清吉	聞光抄（夏光の部）
			1	花田正夫	人類救済の曙光（承前）
			6	白井成允	人生の帰趣と現実
第4巻	第4号	1952（昭和27）年4月15日	11	清水清吉	聞光抄（秋光の部）
			1	花田正夫	人類救済の曙光
			7	白井成允	人生の帰趣と現実
			12	清水清吉	聞光抄（冬日）

## 『慈光』総目次

第4巻	第5号	1952（昭和27）年5月15日	1	社説	自由に就いて
			4	花田正夫	県会一処の信嘗
			8	中野憲二	近角きそ子夫人の靈前に蹲きて
			10	三瓶徳英	読経余瀝
			12	榊原徳草	法友への返信
第4巻	第6号	1952（昭和27）年6月15日	1	花田正夫	釈迦微笑の素懐
			3	福島政雄	無碍の一道
			7	長岡高人	凡秀ノート（一）
			12	松村繁雄	悪人と思えぬほどの悪人をこそ
第4巻	第7号	1952（昭和27）年7月15日	1	花田正夫	親鸞におきてはただ念仏して
			3	福島政雄	無碍の一道
			7	中野駿太郎	自己の正体を見る
第4巻	第8号	1952（昭和27）年8月15日	1	花田正夫	親鸞におきてはただ念仏して
			5	福島政雄	無碍の一道
			10	無記名記事	道宗心得二十一箇条抄
			11	長谷顕性	赤尾の道宗を憶う
第4巻	第9号	1952（昭和27）年9月15日	1	無記名記事	未灯抄意訳
			2	花田正夫	法蔵比丘の求道
			5	中野駿太郎	問題とすべきもの
			8	長岡高人	凡秀ノート（二）—否定の論理—
第4巻	第10号	1952（昭和27）年10月15日	1	無記名記事	祖師の聖句の意訳文
			2	花田正夫	釈迦弥陀は慈悲の父母
			7	福島政雄	日本教化の源流
			11	榊原徳草	如来の調伏を被りて

## 『慈光』総目次

第4巻	第11号	1952（昭和27）年11月15日	1	無記名記事	皇太子聖徳奉讃
			2	花田正夫	聖人のうしろ姿の教化
			7	福島政雄	日本教化の源流（二）
			9	和才誠司	私の信仰
			11	長岡高人	凡秀ノート（三）—信仰と体験—
第4巻	第12号	1952（昭和27）年12月15日	1	花田正夫	歎異抄讃仰
			7	福島政雄	日本教化の源流（三）
			12	三瓶徳英	おがむところ
第5巻	第1号	1953（昭和28）年1月15日	1	花田正夫	阿弥陀至徳の御名
			8	聚墨生	意訳仏説警諭経
			11	長岡高人	病間録「月明」
第5巻	第2号	欠号			
第5巻	第3号	1953（昭和28）年3月15日	2	花田正夫	ひかりといのちを賜る
			7	福島政雄	大無量寿経講話
			11	三瓶徳英	善を好む悪人
第5巻	第4号	1953（昭和28）年4月15日	2	花田正夫	仏陀誕生の意義
			7	福島政雄	大無量寿経講話
			11	清水凡秀	遺稿「願生抄」
第5巻	第5号	1953（昭和28）年5月15日	1	花田正夫	教と時と人
			5	池山栄吉	聖人に親炙して
			11	松尾友雄	無辺の慈光を浴びて
第5巻	第6号	1953（昭和28）年6月15日	1	花田正夫	自己発見の道
			5	福島政雄	大無量寿経講話
			12	聚墨生	聞信録断片



## 『慈光』総目次

第5巻	第7号	1953（昭和28）年7月15日	1	花田正夫	とこしえのまことのいのち
			5	福島政雄	大無量寿経講話
			10	臼杵祖山	あゆみの跡
第5巻	第8号	1953（昭和28）年8月15日	1	花田正夫	無力と自力と他力
			7	福島政雄	大無量寿経講話
			11	臼杵祖山	あゆみの跡
第5巻	第9号	1953（昭和28）年9月15日	1	花田正夫	近角常音先生に別れまつりて
			5	福島政雄	大無量寿経講話
			11	臼杵祖山	自然法爾章講話跋
第5巻	第10号	1953（昭和28）年10月15日	1	花田正夫	近角常音先生に別れまつりて
			4	三瓶徳英	先生の御葬儀に遭い奉りて
			7	能戸得一	近角先生を悼みたてまつる
			8	園憲章	近角先生の追憶
			10	福島政雄	大経四十八願講話
第5巻	第11号	1953（昭和28）年11月15日	1	花田正夫	常音先生随聞私記
			7	福島政雄	大経四十八願講話
			10	臼杵祖山	あゆみの跡
第5巻	第12号	1953（昭和28）年12月15日	1	花田正夫	心光の照護を被る
			5	福島政雄	三願転入に就いて
第6巻	第1号	1954（昭和29）年1月15日	1	臼杵祖山	祖聖の御正当に際して
			2	花田正夫	尽十万の無碍光
			7	柳瀬留治	近角常音先生を憶う
			9	福島政雄	仏の浄土をおもう
			14	無記名記事	新春法信抄

## 『慈光』総目次

第6巻	第2号	1954（昭和29）年2月15日	1	無記名記事	涅槃会を迎う
			2	花田正夫	和を以て貴しと為す
			7	福島政雄	仏の浄土を憶う
			10	長谷顕性	観経読後の余瀝
第6巻	第3号	1954（昭和29）年3月15日	1	花田正夫	篤く三宝を敬え
			6	福島政雄	法蔵の四十八願
			9	和才誠司	古希の法悦の一境
			11	聚墨生	『父ちゃんお帰り』
第6巻	第4号	1954（昭和29）年4月15日	1	花田正夫	共に是れ凡夫のみ
			4	福島政雄	法蔵の四十八願
			9	白杵祖山	病床遺稿
			13	無記名記事	チャータカ物語 瓶造りと亀
第6巻	第5号	1954（昭和29）年5月15日	1	花田正夫	歎異のこころ
			4	福島政雄	法蔵の四十八願
			8	白杵祖山	病床遺稿
			12	無記名記事	チャータカ物語 牝豹と鶴
第6巻	第6号	1954（昭和29）年6月15日	1	福島政雄	三誓偈講話
			6	柳瀬留治	日いでてまさに夜あくるものなり
			8	和才誠司	亡き妻を懐う
			14	聚墨生	お粥の念仏
第6巻	第7号	1954（昭和29）年7月15日	1	無記名記事	近角常音先生御法話
			6	花田正夫	よきひとの仰せの極み
			9	福島政雄	法蔵菩薩の勝行
第6巻	第8号	1954（昭和29）年8月15日	1	花田正夫	無明長夜の灯炬
			5	自在丸新十郎	一週忌に義兄を憶う
			9	福島政雄	大経上巻の全体の感じ
			11	無記名記事	チャータカ物語（11） 猿王物語

## 『慈光』総目次

第6巻	第9号	1954（昭和29）年9月15日	1	花田正夫	滅度を示現し給うて
			5	福島政雄	大経上巻全体の感じ
			7	白杵祖山	愚禿のころ
			10	長谷顕性	信に生き信に死した人
第6巻	第10号	1954（昭和29）年10月15日	1	池山栄吉	『大いなる受入れ』
			6	花田正夫	池山先生随聞私記
			8	福島政雄	大経上巻全体の感じ
			11	西原礼蔵	酒見先生の御手紙
第6巻	第11号	1954（昭和29）年11月15日	1	花田正夫	聖人に会いまいらす道
			5	福島政雄	大経上巻全体の感じ
			8	西原礼蔵	酒見先生の御手紙
			13	三瓶徳英	正信偈意識
第6巻	第12号	1954（昭和29）年12月15日	1	花田正夫	洞爺丸遭難の悲劇
			7	榊原徳草	池山先生「一心正念直来」の御訓読に就いて
			10	福島政雄	大経上巻全体の感じ
			13	聚墨生	昭和二十九年を送る
第7巻	第1号	1955（昭和30）年1月15日	1	近角常観	如来常住の声
			2	花田正夫	長生不死の神方
			6	福島政雄	願成就文に就いて
			9	自在丸新十郎	自然法爾（一）
			13	榊原徳草	名といのち
第7巻	第2号	1955（昭和30）年2月15日	1	花田正夫	聖徳太子の御持言
			4	福島政雄	願成就文に就いて
			8	自在丸新十郎	自然法爾（二）
			12	柳瀬留治	歌心そのをりをり

## 『慈光』総目次

第7巻	第3号	1955（昭和30）年3月15日	1	池山栄吉	法味滴々
			2	花田正夫	世間虚仮唯仏是真
			6	自在丸新十郎	自然法爾（三）
			11	柳瀬留治	歌心そのをりをり
第7巻	第4号	1955（昭和30）年4月15日	1	花田正夫	へだてとまこと
			6	福島政雄	願成就文講話
			10	柳瀬留治	歌心そのをりをり
			13	無記名記事	ジャータカ物語 黒獅子とバンダナ樹
第7巻	第5号	1955（昭和30）年5月15日	1	花田正夫	虚仮を照すもの
			3	福島政雄	願成就文講話
			9	榊原徳草	無義為義の念仏
第7巻	第6号	1955（昭和30）年6月15日	1	白杵祖山	あゆみの跡
			2	花田正夫	如来出世の本意
			6	聚墨生	へだてのやまぬものをこそ
			10	柳瀬留治	歌心そのをりをり
第7巻	第7号	1955（昭和30）年7月15日	1	花田正夫	及至一念の大悲
			7	池山栄吉	ありそなこと
			11	無記名記事	ジャータカ物語 亡き子の導き
			14	浪本蕉一	歎異抄讃歌
第7巻	第8号	1955（昭和30）年8月15日	1	吉田延世	常音先生随聞私記
			5	花田正夫	果遂之誓良に由有る哉
			9	池山栄吉	ありそなこと
第7巻	第9号	1955（昭和30）年9月15日	1	無記名記事	巻頭言 捨身と建現
			2	柳瀬留治	常音先生を憶う
			3	福島政雄	夢の感想
			7	池山栄吉	歎異抄の何処か
			12	無記名記事	ジャータカ物語
第7巻	第10号	1955（昭和30）年10月15日	1	花田正夫	信生活の三要点
			6	柳瀬留治	めがね（随想）
			9	池山栄吉	歎異抄の何処か

## 『慈光』総目次

第7巻	第11号	1955（昭和30）年11月15日	1	花田正夫	信誦に因と為って
			3	無記名記事	池山御夫妻『信仰書簡』
			5	近角常観	衆禍の波転ず
			10	松江岩人	池山先生の追憶
第7巻	第12号	1955（昭和30）年12月15日	1	花田正夫	教信沙弥の定まり
			4	近角常観	親様の手織りの着心地
			9	福島政雄	三つの往生（前奏曲）
第8巻	第1号	1956（昭和31）年1月15日	1	花田正夫	たのまるるただ念仏
			4	福島政雄	三つの往生
			8	三瓶徳英	読書余歴
			11	松村繁雄	「五作さん」に就て憶ふ
第8巻	第2号	1956（昭和31）年2月15日	1	花田正夫	汝若し念ずること能はずんば
			4	福島政雄	近角先生の御一生を追憶して
			9	自在丸新十郎	仏教生活の告白－信心の賛歎－
第8巻	第3号	1956（昭和31）年3月15日	1	花田正夫	聖徳太子と親鸞聖人
			4	福島政雄	近角先生の御一生を追憶して
			9	自在丸新十郎	仏教生活の告白－信心の賛歎－
第8巻	第4号	1956（昭和31）年4月15日	1	無記名記事	仏降誕の意義
			4	花田正夫	「御文」の発見
			8	福島政雄	近角先生の御一生を追憶して
			11	榊原徳草	ひとえに往生極楽の道

## 『慈光』総目次

第8巻	第5号	1956（昭和31）年5月15日	1	花田正夫	「仏が救うて下さる」
			4	福島政雄	近角先生の御一生を追憶して
			7	榊原徳草	弟子と子
			11	南伝大蔵経	チャータカ物語
第8巻	第6号	1956（昭和31）年6月15日	1	近角常観	思想解決の要鍵
			8	花田正夫	近角先生の御提撕を頂く
			10	福島政雄	東方偈に就いて
第8巻	第7号	1956（昭和31）年7月15日	1	無記名記事	日本源空聖人真影の銘文
			2	花田正夫	警策を身に受けて
			6	白杵祖山	病気の見舞文
			7	福島政雄	東方偈に就いて
			12	西村武三	求道いろは歌
第8巻	第8号	1956（昭和31）年8月15日	1	花田正夫	一闍提の救済
			5	福島政雄	東方偈に就いて
			10	柳瀬留治	歌心その折々
			12	無記名記事	ジャータカ物語 獅子王の話
第8巻	第9号	1956（昭和31）年9月15日	1	花田正夫	沙弥随連を憶う
			5	福島政雄	往生について
			9	三瓶徳英	亡き妻の七回忌に懐う
			12	田中文男	「北米日記通信」抄
第8巻	第10号	1956（昭和31）年10月15日	1	花田正夫	心に映ることども
			5	福島政雄	往生について
			10	西元宗助	浄土真宗に帰すれども
			12	無記名記事	法信抄その他
第8巻	第11号	1956（昭和31）年11月15日	1	池山栄吉	大いなる受入れ
			5	花田正夫	無碍の一道
			9	福島政雄	往生について
第8巻	第12号	1956（昭和31）年12月15日	1	近角常観	哀愍摂受
			5	花田正夫	常角先生の德音
			9	福島政雄	易往而無人

## 『慈光』総目次

第9巻	第1号	1957（昭和32）年1月15日	1	花田正夫	年頭に想う
			5	福島政雄	易往而無人
			9	榊原徳草	生死出づべき道
第9巻	第2号	1957（昭和32）年2月15日	1	花田正夫	世界に通用する日本人
			5	福島政雄	易往而無人
			8	自在丸新十郎	煩惱と菩提
			13	聚墨生	聞信雑録
第9巻	第3号	1957（昭和32）年3月15日	1	花田正夫	同座の聖人
			4	福島政雄	易往而無人
			8	榊原徳草	耳と目
			12	長峯崇仁	奄美群島の開教
第9巻	第4号	1957（昭和32）年4月15日	1	花田正夫	「一大事」ということ
			6	榊原徳草	耳と目
			10	松村繁雄	わが人生を憶う
第9巻	第5号	1957（昭和32）年5月15日	1	近角常観	親鸞聖人の真面目
			5	福島政雄	大経五悪段講話
			11	高橋賢一	死線上の実誠
			13	松本解雄	仏灯をかかげる
第9巻	第6号	1957（昭和32）年6月15日	1	花田正夫	可説居士法信抄
			6	福島政雄	大経五悪段講話
			12	和才誠司	世相を顧みて

## 『慈光』総目次

第9巻	第7号	1957（昭和32）年7月15日	2	花田正夫	刊行百号に際して
			6	福島政雄	大経五悪段講話
			9	柳瀬留治	白道の旅人
			13	毎川繁男	失明を縁として
			16	聚墨生	可説居士法信抄
第9巻	第8号	1957（昭和32）年8月15日	1	福島政雄	大経五悪段講話
			4	榊原徳草	よきひと
			10	島仁	真宗俗諦門の妙趣
			12	藤原慧峻	不請の友
			15	可説居士	死の迫る日の手配
第9巻	第9号	1957（昭和32）年9月15日	1	花田正夫	大悲大願のたのもしさ
			5	福島政雄	大経結びの段
			8	三瓶徳英	石見富士山登山の記
			12	榊原徳草	随感随想
			14	田中克己	祖父の形見
第9巻	第10号	1957（昭和32）年10月15日	1	近角常観	親鸞聖人の徳音
			6	花田正夫	ここひとつというところ
			10	福島政雄	大経結びの段
			12	田中克己	祖父の形見
第9巻	第11号	1957（昭和32）年11月15日	1	近角常観	親鸞聖人の徳音
			6	柳瀬留治	常観先生随聞記
			9	花田正夫	蓮如上人の遺徳
			12	田中克己	祖父の形見
第9巻	第12号	1957（昭和32）年12月15日	1	花田正夫	歳末の所感
			3	近角常観	親鸞聖人の徳音
			10	福島政雄	大経結びの段—大平和の世界へ—



## 『慈光』総目次

第10巻	第1号	1958（昭和33）年1月15日	2	近角常観	信仰或問
			5	池山栄吉	親鸞聖人と私
			7	花田正夫	聖人一流章
			11	福島政雄	大経結びの段—大平和の世界へ—
第10巻	第2号	1958（昭和33）年2月15日	1	近角常観	信仰或問
			4	池山栄吉	親鸞聖人と私
			9	花田正夫	改悔文（領解文）
			13	福島政雄	大経結びの段—大平和の世界へ—
第10巻	第3号	1958（昭和33）年3月15日	1	近角常観	真心徹到
			5	花田正夫	一枚起請文
			8	福島政雄	臼杵先生御講述の観経
			11	三瓶徳英	噫歎異抄十三章
第10巻	第4号	1958（昭和33）年4月15日	1	近角常観	帰命の一念
			8	福島政雄	韋提希夫人—仏教の女性観—
			13	花田正夫	一枚起請文
			18	白井成允	正信偈私解
第10巻	第5号	1958（昭和33）年5月15日	1	近角常観	帰命の一念
			4	福島政雄	韋提希夫人—仏教の女性観—
			8	柳瀬留治	橘地翁と私
			14	花田正夫	心に刻まれたことども
			17	白井成允	正信偈私解
第10巻	第6号	1958（昭和33）年6月15日	1	近角常観	帰命の一念
			7	福島政雄	韋提希夫人
			12	柳瀬留治	橘地翁と私
			19	白井成允	正信偈私解

## 『慈光』総目次

第10巻	第7号	1958（昭和33）年7月15日	1	近角常観	真俗二諦の交渉
			7	花田正夫	その名号を聞く
			9	福島政雄	韋提希夫人（三）
			13	聚墨生	富田伴作翁遺詠
			16	清水凡秀	信仰書簡
			19	白井成允	正信偈私解
第10巻	第8号	1958（昭和33）年8月15日	1	近角常観	至心廻向の意義（一）
			7	吉田延世	近角常音先生聞記
			12	花田正夫	常音先生をお偲び申して
			16	三瓶徳英	恩徳広大近角両先生
			20	室住熊三	檀山節考を見て
第10巻	第9号	1958（昭和33）年9月15日	1	近角常観	至心廻向の意義（二）
			5	日下部智	常の仰せに常音先生を偲ぶ
			9	福島政雄	韋提希夫人
			12	花田正夫	生々の善友世々の知識
			16	長谷顕性	随想断片
			21	白井成允	正信偈私解
第10巻	第10号	1958（昭和33）年10月15日	1	近角常観	至心廻向の意義（三）
			4	池山栄吉	父と子
			8	福島政雄	韋提希夫人
			11	自在丸新十郎	清浄心
			17	花田正夫	心光照護の生活
			20	白井成允	正信偈私解（六）

## 『慈光』総目次

第10巻	第11号	1958（昭和33）年11月15日	1	池山栄吉	狂乱して所為多きが如し
			6	花田正夫	歎異抄と池山先生
			8	渡辺範介	池山先生を憶う
			12	北岡行男	先師の思出
			14	白井成允	正信偈私解（七）
			18	近角常観	信仰談話会質疑応答録
第10巻	第12号	1958（昭和33）年12月15日	1	近角常観	知愚の毒を滅す
			12	柳瀬留治	近角常観先生の念仏の豪気
			15	花田正夫	真理の一言
			18	白井成允	正信偈私解（八）
第11巻	第1号	1959（昭和34）年1月15日	2	近角常観	本願一実の大道
			7	福島政雄	善知識を訪ねて
			12	池山栄吉	信仰書簡
			16	花田正夫	一道会の記（一）
第11巻	第2号	1959（昭和34）年2月15日	1	近角常観	真の信仰・仮の信仰
			8	花田正夫	聖徳太子の御忌に
			12	福島政雄	善知識を訪ねて
			17	室住熊三	電子と人間
			21	聚墨生	一道会の記（二）
第11巻	第3号	1959（昭和34）年3月15日	1	花田正夫	刊行満十年
			3	近角常観	超人生と即人生（一）
			9	福島政雄	善知識を訪ねて
			13	三瓶徳英	過去の夢未来の夢
			16	長谷顕性	如来さまの御用を
			18	聚墨生	一道会の記（三）

## 『慈光』総目次

第11巻	第4号	1959（昭和34）年4月15日	1	花田正夫	優越感と卑下感について
			4	近角常観	超人生と即人生（二）
			10	聴間子	求道会館の石の鐘－求道の象徴－
			14	福島政雄	善知識を訪ねて
			18	白井成允	正信偈私解（九）
第11巻	第5号	1959（昭和34）年5月15日	1	花田正夫	歎異抄の讃仰
			3	近角常観	信仰徹底の一念（一）
			9	聴間子	求道会館の石の鐘（二）
			11	福島政雄	善知識を訪ねて
			14	榊原徳草	布袋鞠を蹴るの図
			18	白井成允	正信偈私解（十）
第11巻	第6号	1959（昭和34）年6月15日	1	近角常観	信仰徹底の一念（二）
			8	福島政雄	善知識を訪ねて
			11	花田正夫	病気と信仰問題
			14	福間久米吉	病苦を超えて
			17	信国淳	花の決意
第11巻	第7号	1959（昭和34）年7月15日	3	近角常観	矜哀善巧録（一）
			8	柳瀬留治	常音先生の身を以て示されたもの
			12	花田正夫	常音先生御法話聞書
			15	三瓶徳英	追慕の情念
			19	白井成允	正信偈私解（十一）
第11巻	第8号	1959（昭和34）年8月15日	1	近角常観	矜哀善巧録（二）
			8	福島政雄	善知識を訪ねて
			12	信国淳	称名ということ
			15	花田正夫	ひとつ身の親
			19	白井成允	正信偈私解

## 『慈光』総目次

第11巻	第9号	1959（昭和34）年9月15日	1	近角常観	緊縛と解脱（一）
			9	福島政雄	善知識を訪ねて
			13	花田正夫	ただ念仏して
			18	白井成允	正信偈私解
第11巻	第10号	1959（昭和34）年10月15日	1	近角常観	緊縛と解脱（二）
			9	福島政雄	善知識を訪ねて
			12	波岡茂輝	迷を恐るる或青年に
			16	榊原徳草	雲霧と暁
第11巻	第11号	1959（昭和34）年11月15日	19	白井成允	正信偈私解
			1	近角常観	緊縛と解脱（三）
			7	福島政雄	善知識を訪ねて
			11	花田正夫	ひとりいて喜ぶころ
第11巻	第12号	1959（昭和34）年12月15日	14	榊原徳草	雲霧と暁（二）
			19	白井成允	正信偈私解
			1	聚墨生	朧月に祖聖を仰ぐ
			2	近角常観	緊縛と解脱（四）
第11巻	第12号	1959（昭和34）年12月15日	8	福島政雄	近角常観先生の御一生を追憶して
			16	柳瀬留治	耳の底にのこるもの
			21	花田正夫	求道会館の磐石
			1	近角常観	自然と廻心
第12巻	第1号	1960（昭和35）年1月15日	8	福島政雄	靈界の人近角常観師
			15	白井成允	正信偈私解
			19	榊原徳草	一道会の記

## 『慈光』総目次

第12巻	第2号	1960（昭和35）年2月15日	1	近角常観	宿業論（歎異抄第十三章）
			7	福島政雄	善知識を訪ねて
			11	松本解雄	池山先生講話抄
			14	東昇	永遠に亡びぬもの
			17	花田正夫	善と悪との問題
第12巻	第3号	1960（昭和35）年3月15日	1	近角常観	宿業論（歎異抄第十三章）（二）
			7	福島政雄	善知識を訪ねて
			13	佐藤強三郎	信宗問答
			19	花田正夫	信と疑の問題
第12巻	第4号	1960（昭和35）年4月15日	1	近角常観	宿業論（歎異抄第十三章）（三）
			7	福島政雄	善知識を訪ねて
			15	花田正夫	信諦共に因となりて
			18	白井成允	正信偈私解（十六）
第12巻	第5号	1960（昭和35）年5月15日	1	花田正夫	選択相伝の御影
			3	近角常観	宿業論（歎異抄第十三章）（四）
			9	波岡茂輝	自然法爾
			31	三瓶徳英	正信念仏偈と念仏正信偈
			61	信国淳	自と他
第12巻	第6号	1960（昭和35）年6月15日	1	近角常観	横超断四流
			9	花田正夫	応に無量寿仏を称すべし
			13	辛川忠雄	「源左」に腹を立てた昔噺
			15	白井成允	正信偈私解（十七）－正信念仏偈意識－
第12巻	第7号	1960（昭和35）年7月15日	1	花田正夫	意識唯信抄

## 『慈光』総目次

第12巻	第8号	1960（昭和35）年8月15日	1	無記名記事	原爆十五年
			2	近角常観	横超断四流（二）
			10	福島政雄	常観先生の御手紙
			12	近角真観	私の言いたいこと
			14	辛川忠雄	妙好人をきらった源左
			16	佐藤強三郎	心と真実
第12巻	第9号	1960（昭和35）年9月15日	1	近角常観	煩惱の所為
			3	福島政雄	善知識を訪ねて
			8	信国淳	身命を顧みずして
			13	佐藤強三郎	心と真実
			21	白井成允	正信偈私解
第12巻	第10号	1960（昭和35）年10月15日	1	池山栄吉	微苦笑の聖人
			8	池山寿夫	萩と犬と
			11	花田正夫	或日の池山先生
			15	都崎雅之助	池山先生の思い出
			16	松村勝治郎	凡俗雑感二題
			17	榊原徳草	先師の二十三回忌に
第12巻	第11号	1960（昭和35）年11月15日	1	池山栄吉	ただ念仏
			6	永井一夫	池山先生の追憶
			7	北岡行男	先師の御前に
			9	福本慶子	檜舞台に呼びあげられて
			12	島仁	池山先生の思い出
			14	花田正夫	示現減度拯済無極
			18	玉尾延忠	一道忌に思う

## 『慈光』総目次

第12巻	第12号	1960（昭和35）年12月15日	2	近角常観	歎異抄十三章講義
			10	松村繁雄	歎異の御涙と近角先生の御教化
			13	石原宥政	近角先生と嘉村文学
			17	佐藤強三郎	心と真実
第13巻	第1号	1961（昭和36）年1月15日	1	花田正夫	意訳後世物語聞書
			16	柳瀬留治	耳底録－阿闍世王の入信－
			19	榊原徳草	一道会の記
第13巻	第2号	1961（昭和36）年2月15日	1	花田正夫	法然聖人の讃仰 七百五十回の御忌に
			3	近角常観	歎異抄十三章講義
			12	福島政雄	善知識を訪ねて
			18	柳瀬留治	泥の身の念仏に生きた一生涯
			20	長谷顕性	或小母さんと語る
第13巻	第3号	1961（昭和36）年3月15日	1	近角常観	世諦即真諦
			10	福島政雄	善知識を訪ねて－甘露火王－
			15	佐藤強三郎	心と真実－人生と信仰－
			20	白井成允	正信偈私解
第13巻	第4号	1961（昭和36）年4月15日	1	花田正夫	祖聖の七百回忌に
			10	近角常観	親鸞聖人の真面目
			15	福島政雄	晩年或る日の聖人
			20	三瓶徳英	報恩の生活
第13巻	第5号	1961（昭和36）年5月15日	1	花田正夫	意訳「自力他力事」
			4	近角常観	教行信証「信巻」講話
			12	長谷顕性	根機相応の法
			15	佐藤強三郎	心と真実



## 『慈光』総目次

第13巻	第6号	1961（昭和36）年6月15日	1	花田正夫	両聖に親灸して
			3	近角常観	教行信証「信巻」（二）
			9	佐藤強三郎	心と真実
			12	松村繁雄	ただ念仏して
			15	福島政雄	善財童子の求道
第13巻	第7号	1961（昭和36）年7月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」（三）
			6	佐藤強三郎	心と真実
			13	花田正夫	天親菩薩の御自督
			17	川畑愛義	師の言十年
第13巻	第8号	1961（昭和36）年8月15日	2	近角常観	教行信証「信巻」（四）
			8	近角真観	随筆「虎雄と私」
			14	西博	師の恩
			16	柳瀬留治	ああ常音先生
			20	隆寛律師作	意訳『一念多念分別事』
第13巻	第9号	1961（昭和36）年9月15日	2	近角常観	教行信証「信巻」講話（五）
			7	花田正夫	悪人成仏の悲願
			10	福島政雄	善財童子の求道
			13	佐藤強三郎	心と真実
			19	三瓶徳英	文類正信偈俗解
第13巻	第10号	1961（昭和36）年10月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」講話（六）
			8	池山栄吉	他山の石
			13	福島政雄	善財童子の求道
			17	榊原徳草	三宝に帰依しまつる
			22	佐藤強三郎	心と真実

## 『慈光』総目次

第13巻	第11号	1961（昭和36）年11月15日	1	池山栄吉	念を法海に流す
			5	池山友子	霊前にかたる
			10	花田正夫	釈迦微笑の素懐
			13	長谷顕性	道宗の遺跡を訪ねて
			19	近角常観	教行信証「信巻」講話
第13巻	第12号	1961（昭和36）年12月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」講話（八）
			6	柳瀬留治	恩師の警策を想う
			14	聴間子	近角先生講話聞記
			18	佐藤強三郎	心と真実
			22	花田正夫	歎異抄の放つ光
第14巻	第1号	1962（昭和37）年1月15日	1	近角常観	煩惱の下に光明あり
			4	福島政雄	浄土問答
			10	花田正夫	仏法は万人の問題である
			14	榊原徳草	一道会の記（一）
第14巻	第2号	1962（昭和37）年2月15日	1	近角常観	帰命の一念
			5	福島政雄	太子様を仰ぐ
			11	佐藤強三郎	堂の鈴
			16	榊原徳草	一道会の記
第14巻	第3号	1962（昭和37）年3月15日	1	近角常観	帰命の一念
			6	福島政雄	釈尊の生涯
			12	花田正夫	悲しむべきことを悲しまぬにて
			15	三瓶徳英	御正忌の法縁
			20	佐藤強三郎	堂の鈴

## 『慈光』総目次

第14巻	第4号	1962（昭和37）年4月15日	1	近角常観	歎異抄に就いて
			4	和才誠司	近角常観先生を懐う
			5	西元宗助	部落と浄土真宗
			8	佐藤強三郎	堂の鈴
			12	花田正夫	池山先生二十五回忌に
			17	福島政雄	釈尊の生涯
第14巻	第5号	1962（昭和37）年5月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」三信釈（一）
			5	福島政雄	釈尊の生涯
			11	花田正夫	池山先生二十五回忌に
			14	桑野淳城	斎藤与一郎翁
			17	松村繁雄	教えられる二つの言葉
第14巻	第6号	1962（昭和37）年6月15日	20	佐藤強三郎	堂の鈴
			1	近角常観	教行信証「信巻」三信釈（二）
			7	近角真観	花に寄せて
			10	松本解雄	仏灯をかかげる
			14	花田正夫	横川法語
			19	佐藤強三郎	堂の鈴
第14巻	第7号	1962（昭和37）年7月15日	20	無記名記事	ジャータカ物語
			1	近角常観	教行信証「信巻」三信釈（三）
			10	福島政雄	善知識を訪ねて
			14	和才誠司	夢
			16	木村誠一	真楽記抄
			19	佐藤強三郎	堂の鈴

## 『慈光』総目次

第14巻	第8号	1962（昭和37）年8月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」三信釈（四）
			7	花田正夫	孟蘭盆経に就いて
			11	榊原徳草	大悲はくりかえす
			15	松村繁雄	三瓶老師を庵室に訪う
			18	佐藤強三郎	堂の鈴
第14巻	第9号	1962（昭和37）年9月15日	1	近角常観	教行信証「信巻」三信釈（五）
			7	福島政雄	善財童子の求道
			12	花田正夫	万行と一行と大行
			14	桑野淳城	不二見徹照翁
			19	佐藤強三郎	堂の鈴
第14巻	第10号	1962（昭和37）年10月15日	1	池山栄吉	しみこみ
第14巻	第11号	1962（昭和37）年11月15日	1	近角常観	教行信証「三信釈」（六）
			8	川畑愛義	石の下と上との空間
			13	西本清人	母の一周忌を迎えて
			20	花田正夫	内は愚にして外は賢なり
第14巻	第12号	1962（昭和37）年12月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			3	高原憲	水の味
			9	三瓶徳英	近角先生を偲ぶ
			13	佐藤強三郎	堂の鈴（九）
			18	福島政雄	仏典と私との親しみ（一）
第15巻	第1号	1963（昭和38）年1月15日	1	花田正夫	年頭聖徳太子の教を仰ぐ
			4	近角常観	是の心顛倒せず
			17	福島政雄	仏典と私との親しみ（二）

## 『慈光』総目次

第15巻	第2号・ 第3号	1963（昭和38）年3月15日	1	近角常観	争闘と解脱
			7	松村繁雄	近角先生の思い出
			10	福島政雄	仏典と私との親しみ
			19	佐藤強三郎	堂の鈴（十）
			25	榊原徳草	一道会の記
			30	池山寿夫	ここに来るまで
			35	花田正夫	「四聖諦」に聞く
第15巻	第4号	1963（昭和38）年4月15日	1	近角常観	則ち我善親友なり
			4	高原憲	水の味
			7	西元宗助	父母のまします国
			16	菊池篁三郎	光を聞く生命
			20	花田正夫	「四聖諦」に聞く
第15巻	第5号	1963（昭和38）年5月15日	1	近角常観	「教行信証」講話<信楽釈>（一）
			9	花田正夫	歎異抄第三章
			11	佐藤強三郎	堂の鈴（十二）
			18	榊原徳草	一道会の記（続）
第15巻	第6号	1963（昭和38）年6月15日	1	近角常観	「教行信証」信楽釈（二）
			7	福島政雄	往生の人々（特に柳川重行君を想う）
			10	榊原徳草	禅と念仏
			14	花田正夫	教えられることども
			19	山内すず	みちひとすじ
第15巻	第7号	1963（昭和38）年7月15日	1	花田正夫	南ベトナム仏教事件
			4	近角常観	『教行信証』信楽釈（三）
			12	福島政雄	聖徳太子－日本的自覚への道標を読みて－
			14	故・後藤祐護	弥陀大悲の誓願
			18	北条恵美	『朝晩仏様を拝みましょう』
			20	佐藤強三郎	堂の鈴（十一）
第15巻	第8号	1963（昭和38）年8月15日	1	近角常観	「教行信証」信楽釈（四）
			12	吉田延世	近角常音先生お法語謹録
			17	福島政雄	求道硯滴
			20	木本達縁	心のひかり身のひかり

## 『慈光』総目次

第15巻	第9号	1963（昭和38）年9月15日	1	近角常観	「教行信証」信楽釈（五）
			8	吉田延世	近角常音先生お法語謹録
			12	柳瀬留治	死と対決出来るか
			17	花田正夫	末灯抄第六通
			24	長岡高人	念仏の妙用
第15巻	第10号	1963（昭和38）年10月15日	1	池山栄吉	絶対他力と体験
			7	花田正夫	池山先生を憶う
			12	福島政雄	求道硯滴
			15	近角常観	「教行信証」信楽釈
第15巻	第11号	1963（昭和38）年11月15日	1	近角常観	『教行信証』信楽釈（現生正定聚）
			7	西村正安	酒見忠勢先生 信仰講話
			13	室住熊三	歎異抄を読む心と読まされるころ
			14	佐藤強三郎	堂の鈴（十三）
第15巻	第12号	1963（昭和38）年12月15日	1	近角常観	「教行信証」信楽釈
			7	福島政雄	求道硯滴（三）
			11	高原憲	仏の存在について
			13	三瓶徳英	嬉しい事悲しい事
			15	西村正安	酒見先生講話（二）
			22	花田正夫	聖人に導かれて

## 『慈光』総目次

第16巻	第1号	1964（昭和39）年1月15日	1	花田正夫	歳旦に想う
			3	近角常観	教行信証「信楽釈」
			8	聴聞子	おお先生に手をひかれて
			12	室住熊三	近角先生を憶う
			14	阿刀田令造	虚仮と真実
			19	西村正安	酒見先生「信仰講話」
第16巻	第2号	1964（昭和39）年2月15日	1	近角常観	「教行信証」信楽釈
			11	佐藤強三郎	堂の鈴（十四）
			16	榊原徳草	一道会の記
			23	福島鉄雄	法信技
第16巻	第3号	1964（昭和39）年3月15日	1	近角常観	「教行信証」欲生釈
			8	榊原徳草	一道会の記
			16	北条恵美	畏れを除く
			23	花田正夫	聞信断片
第16巻	第4号	1964（昭和39）年4月15日	1	近角常観	「教行信証」欲生釈
			8	福島政雄	求道硯滴（四）
			12	柳瀬留治	随感随想
			15	佐藤強三郎	堂の鈴（十五）
			20	花田正夫	大安慰
第16巻	第5号	1964（昭和39）年5月15日	1	近角常観	「教行信証」欲生釈（四）
			10	福島政雄	善財童子の求道
			13	池山寿夫	ある日の父
			17	佐藤強三郎	堂の鈴（十六）
			22	花田正夫	鷹と鳩

## 『慈光』総目次

第16巻	第6号	1964（昭和39）年6月15日	1	近角常観	「教行信証」欲生釈（五）
			4	福島政雄	善財童子の求道
			11	柳瀬留治	随時随想
			14	福田鉄雄	心の底にのこる言葉
			16	松村繁雄	さるべき業
			19	花田正夫	仏語を聞くところ
第16巻	第7号	1964（昭和39）年7月15日	1	近角常観	「教行信証」大心海釈（一）
			9	橘地亀次郎	仏智不思議をそのままに
			15	福島政雄	善財童子の求道
			19	花田正夫	仏かねてしろしめして一たのもしさ一
第16巻	第8号	1964（昭和39）年8月15日	1	近角常観	「教行信証」大信海釈（二）
			5	福島政雄	善財童子の求道
			12	福田鉄雄	正法と不思議
			15	松本解雄	ふるさと
			17	花田正夫	源信僧都の和讃三首
第16巻	第9号	1964（昭和39）年9月15日	1	近角常観	「教行信証」大信海釈（三）
			5	榊原徳草	非僧非俗のこころ
			9	室住熊三	禅と念仏
			13	柳瀬留治	人は善人になりたがるものです
			17	三瓶徳英	生くべきか死すべきか
			20	花田正夫	信の旅行く人々
第16巻	第10号	1964（昭和39）年10月15日	1	池山栄吉	業報について
第16巻	第11号	1964（昭和39）年11月15日	1	近角常観	『教行信証』大信海釈（四）
			8	福島政雄	人生問題と信仰（一）
			18	金児黙存	仏陀のおしえ
			20	榊原徳草	『鳥』一愚と大愚一



## 『慈光』総目次

第16巻 第17巻	第12号 第1号	1964（昭和39）年12月15日	2	近角常観	思想の徹底と建現
			16	福島政雄	人生問題と信仰（二）
			34	花田正夫	老苦について
第17巻	第2号	1965（昭和40）年2月15日	1	近角常観	一切衆生悉有仏性（一）
			6	福島政雄	内は愚にして外は賢なり
			9	花田正夫	遠く宿縁を慶ぶ
			14	無記名記事	池山先生建碑讃
			16	榊原徳草	一道会の記
第17巻	第3号	1965（昭和40）年3月15日	2	近角常観	一切衆生悉有仏性（二）
			6	花田正夫	蓮如上人間書について
			10	榊原徳草	一道会の記（続）
			19	高原憲	人生航海
第17巻	第4号	1965（昭和40）年4月15日	1	近角常観	一切衆生悉有仏性（三）
			9	花田正夫	大悲無倦
			12	松村繁雄	念仏申さして貰うだけ
			15	福島政雄	観無量寿経について（一）
第17巻	第5号	1965（昭和40）年5月15日	1	近角常観	如来利他の大悲
			9	花田正夫	佐藤強三郎翁を悼む
			14	和才誠司	理想と現実
			16	福島政雄	観無量寿経について（二）
			24	無記名記事	法信抄
第17巻	第6号	1965（昭和40）年6月15日	1	近角常観	歎異抄第十章講話
			7	高原憲	「癌告知可否」を読んで
			10	平岡利子	差別即平等
			14	上杉真証	明暗二筋道
			19	花田正夫	仏の音色を聞く

## 『慈光』総目次

第17巻	第7号	1965（昭和40）年7月15日	1	近角常観	歎異抄第十一章講話
			9	松本解雄	歎異抄の「も」の味わい
			11	花田正夫	想像の仏と真実の仏
			16	三瓶徳英	養老院生活半ケ年
			21	佐藤強三郎	堂の鈴（十七）
第17巻	第8号	1965（昭和40）年8月15日	1	近角常観	歎異抄第十二章講話
			9	花田正夫	近角常音先生聞書
			12	波岡茂輝	自然法爾について
			15	福田鉄雄	異常気象と友人の病没に思う
第17巻	第9号	1965（昭和40）年9月15日	1	近角常観	歎異抄第十二章講話（二）
			6	福島政雄	ルーテルと親鸞
			12	経谷芳隆	ふるさとに思う
			15	花田正夫	愚禿のころ
			21	佐藤強三郎	堂の鈴（十八）
第17巻	第10号	1965（昭和40）年10月15日	1	近角常観	歎異抄第十二章講話（三）
			5	福島政雄	ルーテルと親鸞
			11	福田鉄雄	連続無窮
			17	柳瀬留治	随想その折々
			21	花田正夫	愚者の信
第17巻	第11号	1965（昭和40）年11月15日	2	近角常観	病床慰問の書簡
			5	光遠院恵空	安心消息
			10	福田鉄雄	<遺稿>－病人の心・癌を病む人へ・書簡－
			18	福田輝子	初七日を迎えて
			19	福島政雄	菜園の家
			20	白井成允	福田鉄雄氏を悼む
			22	岩本正樹	福田さんをおくりて

## 『慈光』総目次

第17巻	第12号	1965（昭和40）年12月15日	1	近角常観	横着心と遠慮心
			5	福島政雄	ルーテルと親鸞
			10	川畑愛義	我が母のいます国
			23	花田正夫	平等の大慈悲
第18巻	第1号	1966（昭和41）年1月15日	2	近角常観	予が宗教的実験
			9	和才誠司	仏は心想事成に入り給う
			11	無記名記事	菅瀬芳英師書簡と筆談
			16	福島政雄	ルーテルと親鸞
第18巻	第2号	1966（昭和41）年2月15日	23	花田正夫	池山先生聞記
			1	真実院大瀛	かたみの御文
			3	福島政雄	歎異抄第三章の味わい
			12	池山寿夫	人間のいとなみ
第18巻	第3号	1966（昭和41）年3月15日	22	榊原徳草	一道会の記
			1	近角常観	信仰問題の急所
			5	柳瀬留治	塚原秀峰師の入信と生涯
			9	福島政雄	歎異抄第三章の味わい
第18巻	第4号	1966（昭和41）年4月15日	20	榊原徳草	一道会の記（二）
			1	近角常観	寂静と応現
			11	花田正夫	法蔵の四十八願
			17	榊原徳草	一道会の記（三）
第18巻	第5号	1966（昭和41）年5月15日	23	松村繁雄	弘誓の強縁
			1	近角常観	寂静と応現（二）
			6	川畑愛義	親鸞聖人と私
			9	榊原徳草	人と法について
			15	松村繁雄	仏かねてしろしめして
			17	花田正夫	法蔵の四十八願（二）

## 『慈光』総目次

第18巻	第6号	1966（昭和41）年6月15日	1	近角常観	信仰と実人生
			8	福島政雄	人間性と浄土教
			11	佐藤強三郎	堂の鈴（遺稿）
			16	花田正夫	法蔵の四十八願
第18巻	第7号	1966（昭和41）年7月15日	1	近角常観	善巧摂化
			8	柳瀬留治	コマねずみ
			10	西元宗助	父母の国
			14	佐藤強三郎	堂の鈴
			19	花田正夫	法蔵の四十八願
第18巻	第8号	1966（昭和41）年8月15日	1	近角常観	摂取不捨の意義
			9	近角真観	よきひとのおおせ
			14	千葉崇憲	お浄土についての味わい
			18	佐藤強三郎	堂の鈴（遺稿）
			20	花田正夫	法味その折々
第18巻	第9号	1966（昭和41）年9月15日	1	近角常観	摂取不捨の意義（二）
			7	白井成允	近角先生に別れまつりて（一）
			16	柳瀬留治	随時随想
			18	花田正夫	生死の巖頭（一）
第18巻	第10号	1966（昭和41）年10月15日	1	近角常観	摂取不捨の意義（三）
			7	白井成允	近角先生に別れまつりて（二）
			10	福島政雄	観無量寿経講話（前）
			18	和才誠司	面をかぶる
			20	花田正夫	生死の問題（中）
第18巻	第11号	1966（昭和41）年11月15日	1	池山栄吉	信仰とはただ念仏して
			12	白井成允	近角先生に別れまつりて
			17	福島政雄	観無量寿経講話（二）

## 『慈光』総目次

第18巻	第12号	1966（昭和41）年12月15日	1	近角常観	人生抵抗の窮絶と無抵抗主義の誤謬
第19巻	第1号	1967（昭和42）年1月15日	1	聚墨生	近角先生著書の刊行を喜びて
			6	松村すすむ	近角常観師を憧憬して
			8	和才誠司	友に導かれて
			10	西元宗助	ただ落ちていく
			16	花田正夫	親鸞聖人の横顔
第19巻	第2号	1967（昭和42）年2月15日	1	池山栄吉	信仰とは（二）
			4	花田正夫	生死の問題（下）
			9	向島諦宣	亡き母の一周忌を迎えて
			15	松村繁雄	成人する孫に
			18	三上考基	わが懺悔の記
第19巻	第3号	1967（昭和42）年3月15日	1	近角常観	夢幻の人生と真実の如来
			4	柳瀬留治	随想断片
			7	花田正夫	親のみ持つ知恵
			11	三上考基	わが懺悔の記
			19	福島政雄	二河論と天路歷程
第19巻	第4号	1967（昭和42）年4月15日	1	近角常観	『歎異抄』の枝折り
			8	福島政雄	愛書と求道
			12	和才誠司	かぎりなきみ仏の慈悲
			16	佐藤強三郎	信味断片
			19	花田正夫	教えられることども
第19巻	第5号	1967（昭和42）年5月15日	1	近角常観	善もほしからず、悪もおそれなし（附・自督余録）
			8	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「信仰の余歴」
			12	聚墨生	菅瀬芳英師法話抄
			18	三瓶徳英	他力念仏と現世利益
			21	花田正夫	科学者の目に映る歎異抄の驚異

## 『慈光』総目次

第19巻	第6号	1967（昭和42）年6月15日	1	池山栄吉	私の入信の経路
			12	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「懺悔録」
			16	花田正夫	遇斯光録
			22	山田宰	ドイツに咲く念仏の花
第19巻	第7号	1967（昭和42）年7月15日	1	近角常観	善巧摂化
			6	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「人生と信仰」
			10	聚墨生	菅瀬芳英師の病中法話
			15	長谷顕性	「聞其の名号」の其について
			19	花田正夫	二河白道の文意
第19巻	第8号	1967（昭和42）年8月15日	2	大字三右衛門	近角常音先生御講話
			11	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「人生と信仰」2
			15	和才誠司	私の信仰と道德
			18	聚墨生	菅瀬芳英師法語抄
			23	岡寛一郎	恩師を偲ぶ
第19巻	第9号	1967（昭和42）年9月15日	2	山田太平	近角先生御法話「世間虚仮・唯仏是真」
			11	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「人生と信仰」③
			15	花田正夫	夏の御文の私解
			18	聚墨生	念仏のかおる人々
			23	無記名記事	子を失った親に
第19巻	第10号	1967（昭和42）年10月15日	1	池山栄吉	絶対他力と体験 苦惱（衆生）
			7		絶対他力と体験 救済（如来）
			12		絶対他力と体験 信仰（仏凡一体）
			19		絶対他力と体験 相続（信的生活）

## 『慈光』総目次

第19巻	第11号	1967（昭和42）年11月15日	1	福島政雄	近角常観先生の追憶
			7	西本清人	菅瀬芳英師五十年忌を迎えて
			12	宮地廓恵	近代的めざめと宗教心
			15	松村繁雄	兄の霊前に申す
			18	花田正夫	賢に遇えば自ら寛なり
第19巻	第12号	1967（昭和42）年12月15日	1	山本普道	横超の現益
第20巻	第1号	1968（昭和43）年1月15日	1	近角先生	<年頭感謝>
			2	近角常観	是非しらず邪正もわかぬこの身なり
			5	福島政雄	観無量寿経講話
			16	大野静哲	無題録
			18	和才誠司	わが信の旅
			22	花田正夫	教えられることども
第20巻	第2号	1968（昭和43）年2月15日	1	近角常観	内は愚にして、外は賢なり
			9	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「親鸞聖人の信仰」①
			13	西元宗助	福島先生著「親鸞聖人を仰いで」を読んで
			14	川畑愛義	医学と宗教
			19	花田正夫	善悪の業報と其救済
			22	聚墨生	ともしび
第20巻	第3号	1968（昭和43）年3月15日	1	近角常観	仏世尊を除きて余は能く救うこと無けん
			5	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「親鸞聖人の信仰」②
			9	榊原徳草	一道会の記
			16	花田正夫	求道の扉
			21	聚墨生	法味一束
			23	無記名記事	ジャータカ物語

## 『慈光』総目次

第20巻	第4号	1968（昭和43）年4月15日	1	近角常観	自然法爾は信仰円熟の極致也
			8	福島政雄	愛書と求道 近角師著「親鸞聖人の信仰」③
			12	石心居士	救われぬもの
			16	榊原徳草	一道会の記（二）
第20巻	第5号	1968（昭和43）年5月15日	1	近角常観	他力の真義（附）わが身の悪しさを苦にする人に
			7	福島政雄	愛書と求道 近角先生著「親鸞聖人の信仰」④
			2	西元宗助	当面の浄土教の課題
			16	柳瀬留治	善悪の物さし
			18	藤井巖	近江学園御巡幸の際の感話
第20巻	第6号	1968（昭和43）年6月15日	20	花田正夫	歎異抄に導かれて
			1	近角常観	教誨自誠
			4	福島政雄	愛書と求道 近角師著「親鸞聖人の信仰」（5）
			8	吉田延世	近角先生聞記
			10	麻生介	疾病と信仰
			17	千葉崇憲	内は愚にして外は賢なり
第20巻	第7号	1968（昭和43）年7月15日	19	花田正夫	歎異抄第一章
			1	近角常観	釈迦闍父の抑止 弥陀悲母の引接
			8	福島政雄	蕩児と窮子①
			13	麻生介	希望と光明
			17	大野静哲	無題録
第20巻	第8号	1968（昭和43）年8月15日	19	花田正夫	歎異抄第一章②
			1	大字三右工門	近角常音先生講話
			5	福島政雄	蕩児と窮子（二）
			12	和才誠司	自然の調和
			15	西元宗助	アメリカの仏たち
			17	花田正夫	歎異抄第二章



## 『慈光』総目次

第20巻	第9号	1968（昭和43）年9月15日	1	福島政雄	蕩児と窮子（三）
			8	柳瀬留治	脳神経のマイナス過程
			10	麻生介	疾病と信仰
			17	三瓶徳英	米寿老人の一人旅
			20	花田正夫	歎異抄第三章
第20巻	第10号	1968（昭和43）年10月15日	1	近角常観	信仰の悦び
			6	麻生介	仏智の不思議
			16	西元宗助	アメリカの仏たち（三）
			19	花田正夫	歎異抄第四章
第20巻	第11号	1968（昭和43）年11月15日	1	池山栄吉	ただ念仏してたのもしさ
			20	池山敏郎	棺の中の父
			21	花田正夫	即ち無明の闇を破す
第20巻	第12号	1968（昭和43）年12月15日	1	近角常観	四海兄弟と同一念仏
			7	花田正夫	近角常観先生を憶う
			11	池山栄吉	ただ念仏してたのもしさ（二）
第21巻	第1号	1969（昭和44）年1月15日	1	近角常観	善悪貧富と絶対救済
			6	白井成允	「篤く三宝を敬え」
			19	和才誠司	平生業成
			21	千葉崇憲	長岡翁を悼む
			23	松井哲	母の法の歌をしのびて
第21巻	第2号	1969（昭和44）年2月15日	1	近角常観	信仰の質疑に答う
			5	榊原徳草	一道会の記（一）
			13	北条恵美	聞光録
			17	木本達縁	念仏の華咲く人
			19	花田正夫	歎異抄第五章

## 『慈光』総目次

第21巻	第3号	1969（昭和44）年3月15日	1	近角常観	絶対純一の信仰
			6	和才誠司	随感随想
			11	榊原徳草	一道会の記（二）
			16	花田正夫	如来より賜りたる信心
第21巻	第4号	1969（昭和44）年4月15日	1	近角常観	真心徹到と自然の建現
			3	福島政雄	人生と信仰（御本書をいただいて）
			7	榊原徳草	一道会の記（三）
			12	大野静哲	病間目録
			14	園憲章	大字佐平治さまの追憶
			17	聚墨生	大字さんに聞く法味二つ
第21巻	第5号	1969（昭和44）年5月15日	1	近角常観	実験の信仰に就いて
			10	白井成允	聖徳太子の人生観（一）
			14	西丸和義	生命とその尊厳
			17	柳瀬留治	「懐かしき人々」
第21巻	第6号	1969（昭和44）年6月15日	20	花田正夫	法味その折り折り
			1	福島政雄	求道問答
			7	和才誠司	信心と歓喜
			10	白井成允	聖徳太子の人生観
第21巻	第7号	1969（昭和44）年7月15日	17	花田正夫	本願と宿業
			1	大字三右工門	近角常音先生御法話
			12	柳瀬留治	近角常音先生に死から救われた毛利君
			15	児玉彊作	こころのたび
			19	松村繁雄	歎異抄に導かれて
			22	花田正夫	われとわれらの救い

## 『慈光』総目次

第21巻	第8号	1969（昭和44）年8月15日	1	近角常観	独断思想の危険と無定見の害毒
			4	近角常音	法信
			6	福島政雄	信仰と母性
			11	花田正夫	人生問題と絶対他力の信仰
			19	聚墨生	ともしび
第21巻	第9号	1969（昭和44）年9月15日	1	近角常観	聖人の面影
			5	柳瀬留治	関東に於ける聖人を憶う
			8	藤本広恵	私が涙の種
			17	花田正夫	仏心と凡心の道交
			23	聚墨生	ともしび
第21巻	第10号	1969（昭和44）年10月15日	1	池山栄吉	微苦笑の聖人 歎異抄第二章に就いて
			7	池山寿夫	母を憶う
			17	花田正夫	歎異抄第七章
第21巻	第11号	1969（昭和44）年11月15日	1	近角常観	実の大道
			16	木村雄吉	近角常観の生涯
			19	柳瀬留治	近角常観・常音先生随聞記
第21巻	第12号	1969（昭和44）年12月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			4	阿刀田令造	信仰と自由
			11	和才誠司	水の味
			14	川畑愛義	若者たち
			22	花田正夫	ことばといのち
第22巻	第1号	1970（昭和45）年1月15日	2	池山栄吉	信後雑感
			9	榊原徳草	一道会の記（一）
			16	木本達縁	心のひかり身のひかり
			19	花田正夫	仏智の不思議

## 『慈光』総目次

第22巻	第2号	1970（昭和45）年2月15日	1	近角常観	四海兄弟と同一念仏
			7	福島政雄	親心の照徹
			12	千葉崇憲	琴平求道会にて
			14	阿刀田令造	教壇に立つわたしの心
			21	花田正夫	意訳『願生偈』
第22巻	第3号	1970（昭和45）年3月15日	1	近角常観	人生問題と信仰
			9	福島政雄	親子一如
			14	杉藤美代子	歎異抄の愚考（一）
			19	花田正夫	『癌の宣告の可否論』
第22巻	第4号	1970（昭和45）年4月15日	1	近角常観	悲観思想と信仰（上）
			5	榊原徳草	一道会の記（二）
			11	杉藤美代子	歎異抄愚考（二）
			15	佐々木義軌	鉄格子の中の帰敬式
			23	三瓶徳英	私という奴
第22巻	第5号	1970（昭和45）年5月15日	1	近角常観	悲観思想と信仰（二）
			7	福島政雄	菊花のおもいで（三）
			11	榊原徳草	一道会の記（三）
			18	杉藤美代子	歎異抄愚考（三）
			22	花田正夫	仏光を身にうけて
第22巻	第6号	1970（昭和45）年6月15日	1	近角常観	仏陀を近きに求めよ
			4	福島政雄	法華経余話（その一）
			10	榊原徳草	一道会の記（四）
			15	杉藤美代子	歎異抄愚考
			18	花田正夫	聖人の常の仰せ

## 『慈光』総目次

第22巻	第7号	1970（昭和45）年7月15日	1	近角常観	仏の人格
			4	杉藤美代子	近角常音先生法話
			12	福島政雄	法華経余話（二）
			17	田端明	讃仏歌「母」
			19	花田正夫	本願成就の声（一）
第22巻	第8号	1970（昭和45）年8月15日	1	近角常観	因果応報は宗教的自覚なり
			4	福島政雄	雪ぼとけ
			7	白井成允	人は如何に生きるべきか－正定聚について－
			13	聚墨生	筑紫野春草師を悼む
			18	花田正夫	本願成就文に就いて（2）
			22	聚墨生	ともしび
第22巻	第9号	1970（昭和45）年9月15日	1	近角常観	宗教心は健全なる常識なり
			5	七里和上語録	七里恒順師見舞文
			8	中島彰悟	住田智見師聞書
			13	筑紫野春草	歌集「白蓮」抄
			17	花田正夫	本願成就文（三）
第22巻	第10号	1970（昭和45）年10月15日	1	近角常観	信仰の修養は実際問題に如くはなし
			4	福島政雄	声聞と縁覚
			7	白井成允	人生は如何に生くべきか（二）－正定聚について－
			14	佐々木義軌	死刑囚の信の瀝程
			19	花田正夫	夢告和讃
第22巻	第11号	1970（昭和45）年11月15日	1	近角常観	仏陀の真実
			5	柳瀬留治	前田清次郎さんを憶う
			8	和才誠司	人生の生き甲斐
			10	玉尾延忠	随感その折り折り
			14	松本解雄	ささやかな体験を通してわが信を語る
			19	花田正夫	晩年の池山先生

## 『慈光』総目次

第22巻	第12号	1970（昭和45）年12月15日	1	近角常観	信ぜんと欲して信ずるに非ず 信ぜざる可からざる故に信ずる也
			4	池山栄吉	信を行く旅人抄
			10	福島政雄	親様育ち
			12	柳瀬留治	死と対決出来るか
			17	松本解雄	現代の仏教の在り方
			20	花田正夫	聖人は今一人の私
第23巻	第1号	1971（昭和46）年1月15日	1	無記名記事	讃仏の歌
			3	近角常観	慈愛と真実
			11	花田正夫	歎異抄聞書－池山先生より－
			15	柳瀬留治	若い世代は何を求めている
			18	無記名記事	白杵老師語録
第23巻	第2号	1971（昭和46）年2月15日	22	聚墨生	ともしび
			1	池山栄吉	信を行く旅人抄（三）
			7	福島政雄	過犯天に弥る
			11	和才誠司	信仰と科学
			14	松本解雄	有縁の知識
			16	榊原徳草	一道会の記
第23巻	第3号	1971（昭和46）年3月15日	20	花田正夫	『ただ念仏して』
			1	近角常観	慈愛と真実（二）
			5	榊原徳草	一道会の記（二）
			11	高原憲	人生の羅針盤
			17	西川玄苔	竹の葉
			18	花田正夫	「仏かねてしろしめして」

## 『慈光』総目次

第23巻	第4号	1971（昭和46）年4月15日	1	近角常観	慈愛と真実（三）
			8	福島政雄	大経の会座
			11	高原憲	西方浄土
			16	榊原徳草	一道会の記（三）
			21	花田正夫	真田増丸師の法味
第23巻	第5号	1971（昭和46）年5月15日	1	近角常観	慈愛と真実（四）
			6	榊原徳草	一道会の記（四）
			10	木村無相	歎異抄を戴きつつー（五人と一人）ー
			14	花田正夫	歎異抄に導かれて
第23巻	第6号	1971（昭和46）年6月15日	1	近角常観	慈愛と真実（五）
			5	榊原徳草	その時聖人ふと姿を消される
			7	佐々木義軌	ある死刑囚の手記
			14	北条恵美	往相と還相
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	歎異抄ところどころ（一）
			23	聚墨生	ともしび
第23巻	第7号	1971（昭和46）年7月15日	1	近角常観	慈愛と真実（六）
			6	福島政雄	謡曲と仏教
			9	榊原徳草	唯念仏のみぞ残れり
			11	木村無相	念仏詩抄
			14	山本晋道	愛児を失える母上に捧ぐ
			24	源通寺	「求道用心集」抄
第23巻	第8号	1971（昭和46）年8月15日	1	大字三右工門	近角常音先生御講話
			9	柳瀬留治	人生随想
			13	中島彰悟	よき人の仰せ
			17	木村無相	念仏詩抄（三）
			20	花田正夫	歎異抄ところどころ

## 『慈光』総目次

第23巻	第9号	1971（昭和46）年9月15日	1	近角常観	懺悔録（一）
			8	福島政雄	盆踊りの感想
			11	北条恵美	呼び声
			15	木村無相	念仏詩抄（四）
			18	花田正夫	歎異抄とところどころ
			23	聚墨生	ともしび
第23巻	第10号	1971（昭和46）年10月15日	1	池山栄吉	聖人に親灸して
			8	近角常観	懺悔録（二）－予が信仰の経過
			14	福島政雄	業と縁
			17	木村無相	念仏詩抄（五）
			19	花田正夫	師弟一味
			23	聚墨生	円朝忌に思う
第23巻	第11号	1971（昭和46）年11月15日	1	近角常観	懺悔録（三）
			6	池山栄吉	我聞如是
			11	福島政雄	晩年の祖師聖人
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	師弟一味（続）
第23巻	第12号	1971（昭和46）年12月15日	1	近角常観	懺悔録（四）－王舎城の悲劇
			6	聴聞子	ああ中田悦二君－信念の修養人－
			12	白井成允	和国の教主
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	南無阿弥陀仏
第24巻	第1号	1972（昭和47）年1月15日	1	近角常観	懺悔録（五）－王舎城の悲劇
			7	菅瀬芳英	法語集
			12	高原憲	水の味
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	衆禍波転



## 『慈光』総目次

第24巻	第2号	1972（昭和47）年2月15日	1	近角常観	懺悔録（六）－阿闍世の懺悔
			9	福島政雄	二河白道の歩み
			13	榊原徳草	一道会の記（一）
			19	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	如来出世の本意
第24巻	第3号	1972（昭和47）年3月15日	1	近角常観	懺悔録（結び）
			5	榊原徳草	一道会の記（二）
			11	西本清人	菅瀬芳英先生を憶う
			15	松村繁雄	噫、歎異抄の九章
			18	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	信味点滴
第24巻	第4号	1972（昭和47）年4月15日	1	近角常観	親鸞聖人の絶対信
			6	福島政雄	浄土の音楽
			10	榊原徳草	一道会の記（三）
			14	高原憲	医学新道
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	晩年の釈尊
第24巻	第5号	1972（昭和47）年5月15日	1	近角常観	信仰の正定、邪定、不定
			6	福島政雄	争いと和らぎ
			9	柳瀬留治	人生随想二つ
			12	榊原徳草	一道会の記
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	新宗教と真宗

## 『慈光』総目次

第24巻	第6号	1972（昭和47）年6月15日	1	近角常観	深心について
			7	福島政雄	信仰と知性
			13	林田英雄	信の旅の一里塚
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	浄土について
			23	北岡行男	「歎異抄と私」の視聴記
			24	森田正勝	「歎異抄と私」の視聴記
第24巻	第7号	1972（昭和47）年7月15日	1	大字三右工門	近角常音先生御法話
			6	山本晋道	浄土の慈悲
			12	信国精一	心の落書
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	人間の原点を求めて
			22	聚墨生	ともしび
第24巻	第8号	1972（昭和47）年8月15日	1	近角常観	慚愧心
			8	福島政雄	孟蘭盆の感想
			10	山本晋道	道は遡きにあり
			16	木村無相	念仏詩抄
			18	花田正夫	親鸞一人が為なりけり
第24巻	第9号	1972（昭和47）年9月15日	1	真実院大瀛	かたみの御文
			3	池山寿夫	父のことども
			12	中井玄英	池山栄吉先生のこと
			14	山本晋道	畢竟依
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	後生の一大事

## 『慈光』総目次

第24巻	第10号	1972（昭和47）年10月15日	1	無記名記事	池山栄吉先生生誕百年記念
			2	近角常観	弔辞（昭和十三年）
			3	舟岡省五	池山先生の遠い思い出
			5	池山寿夫	父のことども（二）
			11	北岡行男	池山先生のプロフィール
			14	信国淳	あまねく
			16	榊原徳草	池山先生の追憶
			24	花田正夫	池山先生生誕百年に想う
第24巻	第11号	1972（昭和47）年11月15日	1	近角常観	病床慰問の書簡
			5	福島政雄	聖人の信仰と道徳
			9	向島諦宣	陰に咲く花
			12	安波勲八	世の人は皆近視だ
			15	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	池山先生を憶う
			23	聚墨生	ともしび
第24巻	第12号	1972（昭和47）年12月15日	1	近角常観	諸の如来と等し
			14	福島政雄	柳川重行君を憶う
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	往生とは新生なり
第25巻	第1号	1973（昭和48）年1月15日	1	近角常観	諸の如来と等し（二）
			9	白井成允	近角常観先生
			13	柳瀬留治	老年問題
			15	高原憲	宿縁
			17	中島彰悟	住田智見師語録
			19	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	衆禍の波転ず

## 『慈光』総目次

第25巻	第2号	1973（昭和48）年2月15日	1	白井成允	近角常観先生（二）
			9	菅瀬芳英	愛別慰問の書簡
			12	住田智見	安心小品抄
			13	山本晋道	召喚の勅命
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	信味その折り折り
第25巻	第3号	1973（昭和48）年3月15日	1	近角常観	園林遊戯の真趣味
			8	福島政雄	私の求道の歷程
			12	園田香融	光りの滝
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	和をもって貴しとなす
第25巻	第4号	1973（昭和48）年4月15日	1	白杵祖山	祖師聖人の遁世
			6	榊原徳草	一道会の記
			9	野呂正音	信人の告白
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	信味断片
第25巻	第5号	1973（昭和48）年5月15日	1	近角常観	濁世動乱と親鸞聖人
			5	信国淳	師を求めるころ（一）
			10	榊原徳草	一道会の記（二）
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	明日への不滅の希望
第25巻	第6号	1973（昭和48）年6月15日	1	近角常観	夢幻の人生と真実の如来
			4	福島政雄	佐伯定胤猯下の追憶（一）
			6	信国淳	師を求めるころ（二）
			13	榊原徳草	一道会の記（三）
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	教えられることども

## 『慈光』総目次

第25巻	第7号	1973（昭和48）年7月15日	1	近角常観	無慚録
			5	福島政雄	佐伯定胤猯下の追憶（二）
			8	信国淳	師を求める心（三）
			15	榊原徳草	一道会の記（四）
			20	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	宗教的朋友
第25巻	第8号	1973（昭和48）年8月15日	1	近角常音	信仰日記抄
			7	近角真観	梶谷丈夫さんの人となり
			12	信国淳	師を求める心（四）
			16	児玉彊作	原爆被爆の想い出
			20	花田正夫	生きること死ぬこと（一）
第25巻	第9号	1973（昭和48）年9月15日	1	近角常観	内愚外賢
			5	池山栄吉	法味滴々
			8	菅瀬芳英	病床談片
			10	信国淳	師を求める心（五）
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	生きること死ぬこと
第25巻	第10号	1973（昭和48）年10月15日	1	近角常観	お慈悲にたちかえる
			6	白井成允	一仏乗のころ
			11	榊原徳草	白井先生の追憶
			16	西川玄苔	白井先生に捧ぐ
			17	信国淳	師を求めるころ
			20	花田正夫	白井先生に別れまつりて

## 『慈光』総目次

第25巻	第11号	1973（昭和48）年11月15日	1	池山栄吉	ただ念仏して
			5	近角常観	信仰書簡
			7	榊原徳草	仏と人
			14	千葉乗隆	二つの親鸞聖人像
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	「たてまえ」と「ほんね」
第25巻	第12号	1973（昭和48）年12月15日	1	近角常観	人生真実の淵源
			6	安波勲八	信仰体験録
			11	山本普道	畢竟依
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	仏法は無我にて候
第26巻	第1号	1974（昭和49）年1月15日	1	近角常観	現代青年の陥り易き思想上の深穿
			6	柳瀬留治	人生随想より
			9	白杵祖山	あゆみの跡
			10	山本普道	俗難と啓蒙
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	聖人の常持語
第26巻	第2号	1974（昭和49）年2月15日	1	近角常観	実生活と真宗教
			6	福島政雄	悲歎述懐和讃
			10	榊原徳草	一道会の記
			15	山本普道	人生の彼岸
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	親鸞聖人の常持語（二）

## 『慈光』総目次

第26巻	第3号	1974（昭和49）年3月15日	1	近角常観	一切無碍
			7	榊原徳草	一道会の記（二）
			12	海野円了	晴れてよし曇りてよし
			14	釈迦説	如来よりたまわるいのち
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	南無阿弥陀仏
第26巻	第4号	1974（昭和49）年4月15日	1	近角常観	真宗慶歎
			3	福島政雄	慈悲の観世音
			8	榊原徳草	一道会の記
			14	山本普道	称仏六字即懺悔
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	撰取不捨の真言
第26巻	第5号	1974（昭和49）年5月15日	1	近角常観	如来の本願
			9	柳瀬留治	人生随感
			13	佐藤強三郎	信仰の両面と労働問題
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	信味その折り折り
第26巻	第6号	1974（昭和49）年6月15日	1	近角常観	一仏名号
			8	福島政雄	母性の覚醒
			11	佐藤強三郎	病青年と語る
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	ただ念仏のたのもしさ
			24	聚墨生	ともしび

## 『慈光』総目次

第26巻	第7号	1974（昭和49）年7月15日	1	大字三右工門	近角常音先生御法話
			10	柳瀬留治	篤信者・前田清次郎さん
			14	園憲章	随感随想
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	念仏成仏の白道
第26巻	第8号	1974（昭和49）年8月15日	1	近角常観	召喚の勅命
			7	福島政雄	求道の中心
			13	都崎雅之助	池山先生のことども
			16	東昇	池山栄吉先生を憶う
			19	鎌田晃	挽歌抄
			21	花田正夫	唯念仏のみぞ残れり
第26巻	第9号	1974（昭和49）年9月15日	1	無記名記事	池山栄吉先生略歴
			2	池山敏朗	棺の中の父
			4	信国淳	出会い
			7	川畑愛義	燃える静けさ
			11	長谷顕性	池山先生を憶う
			13	福本慶子	私のノート
			16	北岡行男	池山先生の追憶を感謝
第26巻	第10号	1974（昭和49）年10月15日	1	池山栄吉	法味滴々
			3	池山敏朗	父を想う
			5	松本解雄	池山先生のことども
			11	保木俊雄	池山先生の思出
			14	榊原徳草	池山先生の追憶
			19	花田正夫	池山清夫人を憶う



## 『慈光』総目次

第26巻	第11号	1974（昭和49）年11月15日	1	近角常観	父母因縁
			6	堤善継	近角先生「法信抄」
			9	福島政雄	求道の中心（二）
			13	平岡坦	高原憲先生聞書
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	知恵の念仏と信心の知恵
第26巻	第12号	1974（昭和49）年12月15日	1	近角常観	利他願海
			6	福島政雄	求道の中心（三）
			11	木村無相	念仏詩抄
			14	川畑愛義	池山寿夫様を悼む
			15	花田正夫	池山寿夫様を憶う
			22	平岡坦	高原憲先生聞書
第27巻	第1号	1975（昭和50）年1月15日	1	近角常観	予が宗教的実験
			8	白井成允	念仏—おもいででの記
			10	福島政雄	求道の中心
			14	平岡坦	高原憲先生聞書
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	忘れえぬ人々
第27巻	第2号	1975（昭和50）年2月15日	1	近角常観	信楽開発
			8	福島政雄	求道の中心
			13	柳瀬留治	かたおもい
			15	平岡坦	高原憲先生聞書
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	ともしび

## 『慈光』総目次

第27巻	第3号	1975（昭和50）年3月15日	1	近角常観	大悲廻向
			6	福島政雄	求道の中心
			9	松本解雄	念仏は時と処を超えしめる
			14	花田正夫	松本解雄教授を弔す
			16	山本晋道	西方の浄土
			22	木村無相	念仏詩抄
第27巻	第4号	1975（昭和50）年4月15日	2	近角常観	一念横超
			7	福島政雄	降魔と成道
			12	松本解雄	仏灯をかかげる
			16	木村無相	念仏詩抄
第27巻	第5号	1975（昭和50）年5月15日	18	花田正夫	生と死と
			1	近角常観	醍醐の妙味
			7	菅瀬忠子	よろこびのあと
			13	松本解雄	随感録
第27巻	第6号	1975（昭和50）年6月15日	16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	極刑者を見舞うて
			1	近角常観	無為涅槃
			8	福島政雄	こころ
第27巻	第7号	1975（昭和50）年7月15日	12	菅瀬忠子	よろこびのあと（二）
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	現代と浄土真宗
			1	近角常観	往還廻向
第27巻	第7号	1975（昭和50）年7月15日	7	菅瀬忠子	よろこびのあと（三）
			13	鈴木仁三郎	善巧の不可思議
			16	高千穂徹乗	私の記録（一）
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	浄土に就いて

## 『慈光』総目次

第27巻	第8号	1975（昭和50）年8月15日	1	近角常観	報恩講法話
			8	菅瀬忠子	よろこびのあと（四）
			12	高千穂徹乗	私の記録（二）
			14	松本解雄	愚禿のこころ
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	夏の御文
第27巻	第9号	1975（昭和50）年9月15日	1	近角常観	真化仏土
			7	白井成允	『青蓮華』歌抄（一）
			10	高千穂徹乗	いのちのよろこび（一）
			15	木村無相	念仏詩抄
			18	花田正夫	近角常音先生を憶う
第27巻	第10号	1975（昭和50）年10月15日	1	池山栄吉	流念法海（信後雑感）
			7	白井成允	『青蓮華』歌抄（二）
			10	松本解雄	一つの告白
			12	高千穂徹乗	いのちのよろこび（二）
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	久遠の友
第27巻	第11号	1975（昭和50）年11月15日	1	近角常観	善悪摂取
			8	福島政雄	祖聖親鸞
			12	高千穂徹乗	慈母の念力（一）
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	不断煩惱得涅槃
			22	聚墨生	ともしび

## 『慈光』総目次

第27巻	第12号	1975（昭和50）年12月15日	1	近角常観	信
			5	福島政雄	仏教的家庭
			9	白井成允	「青蓮華」歌抄（三）
			13	高千穂徹乗	慈母の念力（二）
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	歳末の断想
第28巻	第1号	1976（昭和51）年1月15日	2	近角常観	信仰の偉力
			7	白井成允	苦悩の救済
			12	高千穂徹乗	慈母の念力（三）
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	いのち尊し
第28巻	第2号	1976（昭和51）年2月15日	1	池山栄吉	親鸞聖人と私
			7	高千穂徹乗	「逆境の恩恵」抄
			12	榊原徳草	一道会の記
			18	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	求道の枝折
第28巻	第3号	1976（昭和51）年3月15日	1	近角常観	唯仏与仏の智見
			5	福島政雄	人生問題と信仰
			14	花田正夫	福島先生にお別れして
			18	榊原徳草	一道会の記（一）
			22	木村無相	念仏詩抄

## 『慈光』総目次

第28巻	第4号	1976（昭和51）年4月15日	1	近角常観	真宗教証
			7	福島政雄	久遠
			9	西元宗助	福島先生を偲ぶ
			12	榊原徳草	一道会の記（続）
			16	田辺昭	一条の光
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	私の問題である
第28巻	第5号	1976（昭和51）年5月15日	1	近角常観	真宗教証
			7	福島政雄	人生問題と信仰（二）
			12	宮地廓恵	福島先生を偲んで（一）
			17	榊原徳草	一道会の記
			20	木村無相	念仏詩抄
第28巻	第6号	1976（昭和51）年6月15日	23	花田正夫	本願に生きる
			1	近角常観	善悪超絶の真義
			4	福島政雄	人生問題と信仰（二）
			8	宮地廓恵	福島先生を偲んで（続）
			11	榊原徳草	一道会の記
			15	松本解雄	誓願不思議にたすけられるばかり
			17	木村無相	念仏詩抄
第28巻	第7号	1976（昭和51）年7月15日	20	花田正夫	往生は一人一人のしのぎ
			1	近角常観	思想解決の要鍵
			7	福島政雄	慈光のあと（一）
			12	榊原徳草	仏かねてしろしめして（一）
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	如来は最上の知己

## 『慈光』総目次

第28巻	第8号	1976（昭和51）年8月15日	1	大字三右工門	近角常音先生講話
			4	白井成允	一仏乗のころ
			9	福島政雄	慈光のあと
			12	榑原徳草	仏かねてしろしめして
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	撰取不捨の真言（一）
第28巻	第9号	1976（昭和51）年9月15日	1	近角常観	社会における内的制裁力の養成
			4	福島政雄	未離欲
			6	今永一	癌医者になって
			9	松本解雄	真実のみ教
			14	松村繁雄	お盆会を迎えて
			16	木村無相	念仏詩抄
第28巻	第10号	1976（昭和51）年10月15日	19	花田正夫	撰取不捨の直言（二）
			1	近角常観	社会の根底的改造
			5	池山栄吉	絶対他力と体験（一）—衆生の苦悩—
			12	山本晋道	宗教に何を求めべきか
			17	木村無相	念仏詩抄
第28巻	第11号	1976（昭和51）年11月15日	20	花田正夫	めぐまれた尊いいのち
			1	近角常観	信仰と苦悶
			4	池山栄吉	絶対他力と体験（二）
			10	中島彰悟	光沢抄
			16	山本晋道	長生不死の神方
			20	木村無相	念仏詩抄
22	花田正夫	愚禿のころ			

## 『慈光』総目次

第28巻	第12号	1976（昭和51）年12月15日	1	近角常観	自然と廻心
			8	池山栄吉	絶対他力と体験 信仰（仏凡一体）
			15	高千穂徹乗	助道の人法
			20	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	円融至徳の嘉号
第29巻	第1号	1977（昭和52）年1月15日	1	近角常観	底下の凡愚
			5	池山栄吉	信的生活
			10	木村義文	日系軍人と裁判
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	信の旅の二つの枝折
第29巻	第2号	1977（昭和52）年2月15日	1	近角常観	慈光の照耀
			4	臼杵祖山	自然法爾のこと
			6	福島政雄	教育の姿
			11	山田宰	福島先生の一年忌に
			15	榊原徳草	一道会の記
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	随感断片
第29巻	第3号	1977（昭和52）年3月15日	1	近角常観	信ずるほかに別の子細なき也
			5	高千穂徹乗	彼岸と此岸
			10	榊原徳草	一道会の記
			15	渡辺顕信	スイスの真宗教会
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	生死巖頭を照らす光

## 『慈光』総目次

第29巻	第4号	1977（昭和52）年4月15日	1	近角常観	歎異抄につきて
			5	福島政雄	大経結びの段について
			8	高千穂徹乗	私の記録
			10	榊原徳草	一道会の記
			15	木村無相	念仏詩抄
			18	花田正夫	二月に思うこと
第29巻	第5号	1977（昭和52）年5月15日	1	近角常観	人生問題と信仰
			7	安波勲八	信仰体験録
			10	清水凡禿	「法悦抄」聞光願生
			13	榊原徳草	一道会の記
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	「御一代聞書」私解
第29巻	第6号	1977（昭和52）年6月15日	1	近角常観	煩悶の下に光明あり
			5	福島政雄	『大経』結びの段
			10	山本晋道	共に是れ凡夫のみ
			13	松村繁雄	新春の感謝
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	三願転入に就いて
第29巻	第7号	1977（昭和52）年7月15日	1	近角常観	清水誓一君の最後
			6	大字三右工門	常音先生御法話
			10	柳瀬留治	人生随想
			14	高千穂徹乗	私の記録
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	心に刻まれたこと



## 『慈光』総目次

第29巻	第8号	1977（昭和52）年8月15日	1	近角常観	信仰談話会抄録
			8	大字三右工門	近角常音先生御法話
			15	川畑愛義	静けさと・ほほえみとー故池山先生のことー
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	聖人の常の仰せ
第29巻	第9号	1977（昭和52）年9月15日	1	近角常観	信仰談話会応答抄録
			6	福島政雄	大経結びの段について
			11	菅瀬芳英	実験の信仰
			15	釈可説居士	父と子に送る
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	愚禿悲歎述懐和讃
第29巻	第10号	1977（昭和52）年10月15日	1	池山栄吉	ただ念仏してーたのもしさー
			17	聚墨生	池山先生聞信記
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	親鸞もこの不審ありつるに
第29巻	第11号	1977（昭和52）年11月15日	1	近角常観	内愚外賢
			5	柳瀬留治	人生随想
			8	誉田豊吉	聞思録抄
			13	清水清吉	法悦抄
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	わが生涯の師
第29巻	第12号	1977（昭和52）年12月15日	1	近角常観	信仰所感
			4	福島政雄	近角先生の御一生
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	世間虚仮・唯仏是真
			24	北条民雄	いのちの初夜抄

## 『慈光』総目次

第30巻	第1号	1978（昭和53）年1月15日	2	近角常観	四海兄弟と同一念仏
			8	柳瀬留治	新春の所感
			10	田村実造	歎異抄のすすめ（一）
			14	川畑愛義	生命追求への遊び
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	随感随想
第30巻	第2号	1978（昭和53）年2月15日	1	無記名記事	法然上人の常の仰せ
			3	近角常観	利他真実の信心
			8	田村実造	歎異抄のすすめ（二）
			13	榊原徳草	一道会の記
			21	花田正夫	「我が善き親友なり」
第30巻	第3号	1978（昭和53）年3月15日	1	近角常観	信仰の奥底
			7	白井成充	「業」の思想と修養
			11	田村実造	歎異抄のすすめ（三）
			16	榊原徳草	一道会の記
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	法味断片
第30巻	第4号	1978（昭和53）年4月15日	1	近角常観	易往にして無人
			6	福島政雄	聖徳太子讃仰－特に折伏と摂受について－
			9	田村実造	歎異抄のすすめ
			11	榊原徳草	一道会の記
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	共に悲しみ共に喜ぶ心

## 『慈光』総目次

第30巻	第5号	1978（昭和53）年5月15日	1	無記名記事	近角・菅瀬両師の病床筆談
			3	白井成充	「われはわろし」
			10	田村実造	歎異抄のすすめ
			13	西元宗助	足利浄円師ご法話随聞記
			16	清水凡禿	聞光願生
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	世間虚仮・唯仏是真
第30巻	第6号	1978（昭和53）年6月15日	1	近角常観	韋提別選の正憲
			8	田村実造	歎異抄のすすめ（五）
			11	西元宗助	自照日誌抄（一）
			14	安波勲八	随感録
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	歎異抄第五章
第30巻	第7号	1978（昭和53）年7月15日	1	近角常観	仏智不思議を信ぜよ
			8	田村実造	歎異抄のすすめ
			12	西元宗助	自照日誌抄（二）
			15	誉田豊吉	聞思録抄
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	如来の声を聞く
第30巻	第8号	1978（昭和53）年8月15日	1	大字三右工門	近角常音先生御講話
			6	田村実造	歎異抄のすすめ（六）
			11	誉田豊吉	聞信録抄
			14	木村無相	私の詩と信仰
			20	もつもと・ときを	おかげさま
			21	花田正夫	不請之友

## 『慈光』総目次

第30巻	第9号	1978（昭和53）年9月15日	1	近角常観	如来とは何ぞや
			8	福島政雄	こころ
			12	西元宗助	自照日誌抄（二）
			15	木村無相	私の詩と信仰（二）
			21	花田正夫	生きる・生かされる
第30巻	第10号	1978（昭和53）年10月15日	1	無記名記事	不滅の大経
			2	池山栄吉	私の入信経路
			9	白井成充	釈迦如来を憶う
			12	西元宗助	自照日誌抄
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	法味・その折り折り
			21	石田十九三	摂取不捨（一）
第30巻	第11号	1978（昭和53）年11月15日	1	池山栄吉	聖人に親灸して
			7	川畑愛義	静けさとほほえみ
			13	西元宗助	自照日誌抄（六）
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	向島諦宣師を悼む
			21	石田十九三	摂取不捨
			23	無記名記事	木と火
第30巻	第12号	1978（昭和53）年12月15日	1	無記名記事	大いなる遺言
			2	近角常観	信仰の余瀝
			7	川端愛義	静けさとほほえみ（二）
			12	西元宗助	自照日誌抄（六）
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	善人なおもて往生をとぐ
			21	石田十九三	摂取不捨

## 『慈光』総目次

第31巻	第1号	1979（昭和54）年1月15日	1	近角常観	内愚外賢
			5	白井成充	釈迦如来を憶う
			7	川畑愛義	静けさとほほえみ（三）
			11	西元宗助	自照日誌抄（八）
			13	木村無相	念仏詩抄
			15	花田正夫	聖徳皇の和の教え
			20	石田十九三	撰取不捨
第31巻	第2号	1979（昭和54）年2月15日	1	無記名記事	仏入涅槃の二月十五日
			2	近角常観	誓願の親心
			6	福島政雄	無自覚の身
			10	榊原徳草	一道会の記
			12	西元宗助	自照日誌抄（八）
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	久遠の友
22	石田十九三	撰取不捨			
第31巻	第3号	1979（昭和54）年3月15日	1	近角常観	信楽開発
			9	菅瀬芳英	愛別に悲しむ人に
			11	西元宗助	自照日誌抄（十）
			13	榊原徳草	一道会の記
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	石田十九三	撰取不捨
24	無記名記事	新春法信抄			

## 『慈光』総目次

第31巻	第4号	1979（昭和54）年4月15日	1	近角常観	智恩報徳
			4	福島政雄	正像未和讃
			8	榊原徳草	一道会の記
			12	西元宗助	自照日誌抄十
			14	清水凡禿	法悦抄
			17	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	ともしび
			21	石田十九三	撰取不捨
第31巻	第5号	1979（昭和54）年5月15日	1	近角常観	罪と恵み
			4	白井成充	二世の利益
			8	榊原徳草	一道会の記
			13	西元宗助	自照日誌抄（十）
			16	木村無相	念仏詩抄
			18	花田正夫	同座の聖人
			22	石田十九三	撰取不捨
第31巻	第6号	1979（昭和54）年6月15日	1	白井成充	二世の利益
			5	榊原徳草	一道会の記
			10	松本解雄	宗教の信について
			12	山田宰	ビーバー師を憶う
			17	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	天上月一輪
22	石田十九三	撰取不捨			

## 『慈光』総目次

第31巻	第7号	1979（昭和54）年7月15日	1	近角常観	罪悪と救済
			4	近角常音	七十歳『日記抄』
			9	松本解雄	随感断片
			12	西元宗助	自照日誌抄（11）
			14	田端明	母の涙
			16	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	唯聴弥陀本願海
			22	石田十九三	撰取不捨
第31巻	第8号	1979（昭和54）年8月15日	1	近角常観	釈迦嚴父の抑止・弥陀悲母の引接
			7	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一）
			10	西元宗助	自照日誌抄（12）
			12	清水凡禿	聞光願生
			15	木村無相	念仏詩抄
			18	花田正夫	大悲の願船に乗じて
			22	石田十九三	撰取不捨
第31巻	第9号	1979（昭和54）年9月15日	1	近角常観	人生問題と信仰
			8	西田幾多郎	愚禿親鸞
			10	井上善右衛門	御一代記聞書抄
			13	安波勲八	私の信へのたどり
			16	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	池山・近角両師を憶う

## 『慈光』総目次

第31巻	第10号	1979（昭和54）年10月15日	1	無記名記事	安楽集下巻より
			2	池山栄吉	ただ念仏して
			6	福島政雄	永劫の帰依所
			8	高原憲	羅針盤
			10	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・三）
			13	西元宗助	自照日誌抄（13）
			15	木村無相	念仏詩抄
			19	花田正夫	信味断片
第31巻	第11号	1979（昭和54）年11月15日	1	近角常観	涅槃の極果・園林の遊戯
			5	福島政雄	浄土問答
			11	安波勲八	お慈悲とお浄土
			13	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・四）
			16	西元宗助	自照日誌抄（14）
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	遠く宿縁を慶ぶ
第31巻	第12号	1979（昭和54）年12月15日	1	近角常観	悲歎述懐
			9	白井成充	摂取不捨のことわり
			13	誉田豊吉	聞思録抄
			16	西元宗助	自照日誌抄（16）
			21	花田正夫	釈迦微笑の素懐



## 『慈光』総目次

第32巻	第1号	1980（昭和55）年1月15日	1	近角常観	自督余録
			6	福島政雄	ここ路
			10	白井成充	菅瀬芳英和上
			13	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・五）
			16	西元宗助	自照日誌抄（16）－ことしもお宜しく－
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	仏願の生起を聞く
第32巻	第2号	1980（昭和55）年2月15日	1	近角常観	善知識の恩
			5	池山栄吉	信を行く旅人抄
			9	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・六）
			12	西元宗助	自照日誌抄（18）
			15	榊原徳草	一道会の記
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	ともしび
第32巻	第3号	1980（昭和55）年3月15日	2	近角常観	他力の悲願
			5	池山栄吉	信を行く旅人抄
			9	井上善右工門	御一代記聞書抄（続七）
			12	西元宗助	自照日誌抄（18）
			14	榊原徳草	一道会の記
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	信国淳師を悼む

## 『慈光』総目次

第32巻	第4号	1980（昭和55）年4月15日	1	近角常観	他力信仰の妙趣
			4	池山栄吉	信を行く旅人抄
			7	榊原徳草	一道会の記
			12	川畑愛義	去りしものは哀しきかな
			16	西元宗助	自照日誌抄（20）
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	本願に生かされて
第32巻	第5号	1980（昭和55）年5月15日	1	近角常観	能く瓦礫を金に変成せしむ
			6	池山栄吉	信を行く旅人抄
			9	白杵祖山	南無阿弥陀仏
			12	西元宗助	自照日誌抄（20）
			14	清水凡禿	不問語
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	山田宰	法味随想
22	花田正夫	ともしび			
第32巻	第6号	1980（昭和55）年6月15日	1	近角常観	是非知らず邪正もわかぬこの身なり
			4	池山栄吉	信を行く旅人抄
			7	多賀重治	病気見舞状集
			9	井上善右工門	御一代記聞書抄（続八）
			12	西元宗助	自照日誌抄（22）
			14	榊原徳草	一道会の記
			19	木村無相	念仏詩抄
21	花田正夫	疾病と信仰			

## 『慈光』総目次

第32巻	第7号	1980（昭和55）年7月15日	1	近角常観	此時局をいかにせん
			8	池山栄吉	信を行く旅人抄
			12	井上善右工門	御一代記聞書抄（続九）
			15	西元宗助	自照日誌抄（22）
			18	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	疾病と信仰（2）
第32巻	第8号	1980（昭和55）年8月15日	1	道綽禅師	安楽集（下巻）
			2	吉田延世	近角常音先生聞死記
			5	花田正夫	近角常音先生聞思記
			8	池山栄吉	信を行く旅人抄
			11	高千穂徹乗	人生の課題
			13	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一〇）
			15	西元宗助	自照日誌抄（24）
			18	木村無相	念仏詩抄
第32巻	第9号	1980（昭和55）年9月15日	1	近角常観	信心の正因
			9	池山栄吉	信を行く旅人抄
			12	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・十一）
			15	西元宗助	比叡山と高野山 自照日誌抄（24）のかわりに
			19	木村無相	念仏詩抄
第32巻	第10号	1980（昭和55）年10月15日	22	花田正夫	攬教照心
			1	池山栄吉	信を行く旅人—私の入信の経路—
			10	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一二）
			13	西元宗助	自照日誌抄（26）—光に照らされながら—
			16	誉田豊吉	聞思録抄
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	自己を知る道

## 『慈光』総目次

第32巻	第11号	1980（昭和55）年11月15日	1	近角常観	人生問題と信仰
			7	池山栄吉	信を行く旅人抄—二河白道—
			14	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一三）
			17	西元宗助	欧州巡遊寸感
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	如来の誓願は知愚の毒を滅す
第32巻	第12号	1980（昭和55）年12月15日	1	近角常観	宗教最高の理想とその人生観
			6	福島政雄	晩年の親鸞聖人
			12	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一四）
			15	西元宗助	自照日誌抄（28）
			21	花田正夫	釈迦仏の徳音
第33巻	第1号	1981（昭和56）年1月15日	1	近角常観	如来の御心
			5	福島政雄	晩年の親鸞聖人
			11	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・一五）
			14	西元宗助	凡骨日誌抄（1）—新年を迎えて—
			16	安波勲八	死の宣告を受けて
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	心に刻まれた法語
第33巻	第2号	1981（昭和56）年2月15日	1	近角常観	実生活と真宗教
			6	井上善右衛門	御一代記聞書抄（続・一六）
			9	高原憲	水の味
			12	榊原徳草	一道会の記
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	ともしび

## 『慈光』総目次

第33巻	第3号	1981（昭和56）年3月15日	1	近角常観	他力信仰の妙趣
			5	福島政雄	こころ（仰信随筆）
			10	榊原徳草	一道会の記
			14	西元宗助	凡骨日誌抄（2）
			17	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・一七）
			20	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	法味断片
第33巻	第4号	1981（昭和56）年4月15日	2	福島政雄	私の入信の径路
			9	西元宗助	白杵祖山師を偲ぶ
			12	榊原徳草	一道会の記
			17	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・一八）
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	近角真観様を悼む
第33巻	第5号	1981（昭和56）年5月15日	1	源信僧都	二十五・三味式
			2	池山栄吉	歎異抄第三章
			7	白井成充	聞法録
			11	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・一九）
			14	西元宗助	凡骨日誌抄（3）
			17	清水凡禿	不問語
			19	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	極重悪人唯称仏

## 『慈光』総目次

第33巻	第6号	1981（昭和56）年6月15日	1	近角常観	人生と信仰・信仰と人生
			5	池山栄吉	歎異抄第三章（続）
			10	山本晋道	真実の道
			14	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・二〇）
			16	西元宗助	凡骨日誌抄（十）
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	源信僧都讃仰
第33巻	第7号	1981（昭和56）年7月15日	1	池山栄吉	法味滴々
			2	近角常音	信仰筆録
			6	多田鼎	三河の殉教者
			11	井上善右工門	御一代記聞書抄（続・二一）
			14	西元宗助	凡骨日誌抄（五）
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	忘れ得ぬ人々
第33巻	第8号	1981（昭和56）年8月15日	1	無記名記事	親鸞聖人の常の仰せ
			2	近角常観	懺悔録（序文と緒言）
			8	近角常音	信仰筆録
			12	木村無相	歎異抄愚註あとがき
			14	井上善右工門	御一代記聞書抄
			17	西元宗助	凡骨日誌抄（12）
			20	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	法然上人の德音

## 『慈光』総目次

第33巻	第9号	1981（昭和56）年9月15日	1	近角常観	信仰談話会質疑応答録
			6	福島政雄	久遠のまこと
			8	井上善右工門	信行いろは歌
			11	西元宗助	凡骨日誌抄（7）
			13	川畑愛義	九条武子夫人について
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	最近心に去来すること
第33巻	第10号	1981（昭和56）年10月15日	1	近角常観	信仰談話会質疑応答録（二）
			8	福島政雄	第十八願の味わい
			11	西元宗助	凡骨日誌抄（14）
			13	井上善右工門	業報と本願力
			15	清水凡禿	聞光願生
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	無碍の一道
第33巻	第11号	1981（昭和56）年11月15日	1	近角常観	智愚の毒を滅す
			11	福島政雄	学問と信仰
			14	西元宗助	凡骨日誌抄（9）
			18	井上善右工門	人間というもの
			21	木村無相	念仏詩抄
			23	花田正夫	印度の差別の現状
第33巻	第12号	1981（昭和56）年12月15日	1	近角常観	誓願の親心
			5	福島政雄	三願転入に就いて
			9	西本清人	菅瀬芳英師語録
			12	西元宗助	凡骨日誌抄（16）
			15	白河梅次郎	耳底に残る多田先生の仰せ
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	信心に就いて

『慈光』総目次

第34巻	第1号	未刊行			
第34巻	第2号	1982（昭和57）年2月15日	1	無記名記事	歎異抄第二章
			2	池山栄吉	ただ念仏して
			6	井上善右工門	信と人生
			10	西元宗助	凡骨日誌抄（11）
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	法味その折り折り
第34巻	第3号	1982（昭和57）年3月15日	1	近角常観	お慈悲を遁げ廻る根性
			4	井上善右工門	老のかがやき
			7	西元宗助	凡骨日誌抄
			10	榊原徳草	一道会の記
			13	川畑愛義	榊原さんの「一道」を読んで
			14	木村無相	念仏詩抄
			17	花田正夫	法悦その折り折り



## 『慈光』総目次

第34巻	第4号	1982（昭和57）年4月15日	1	近角常観	煩悶の下に光明あり
			5	安波勲八	盲人が盲人のまんま救われる
			9	井上善右工門	大悲無倦
			12	西元宗助	凡骨日誌抄（12）
			14	川畑愛義	生命への畏敬
			16	山田宰	中国残留孤児と貿易摩擦
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	法味その折り折り
第34巻	第5号	1982（昭和57）年5月15日	1	近角常観	仏陀の真実
			5	井上善右工門	親の叫び
			7	西元宗助	凡骨日誌抄
			9	榊原徳草	一道会の記
			17	増山銀治	遠く宿縁を慶ぶ
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	法悦その折り折り
第34巻	第6号	1982（昭和57）年6月15日	1	近角常観	清水誓一君の最後
			6	白井成充	聞信雑録
			9	井上善右工門	多田鼎先生の句碑
			11	西元宗助	凡骨日誌抄（14）
			13	榊原徳草	一道会の記（終）
			22	木村無相	念仏詩抄

## 『慈光』総目次

第34巻	第7号	1982（昭和57）年7月15日	1	近角常観	釈迦の抑止と弥陀の引接
			7	白井成充	聞信雑録
			10	川畑愛義	入院雑詠
			12	井上善右工門	真実の宗教
			14	西元宗助	凡骨日誌抄
			16	亀岡邦生	松本解雄先生を憶う
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	平和に就いて
第34巻	第8号	1982（昭和57）年8月15日	1	大字三右工門	近角常音先生御法話
			6	福島政雄	三願転入に就いて
			12	井上善右工門	「そのまま」について
			14	西元宗助	凡骨日誌抄
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	蓮如上人を憶う
第34巻	第9号	1982（昭和57）年9月15日	1	池山栄吉	親鸞聖人と私
			7	福島政雄	手織の着物
			10	井上善右工門	問いに答えて
			13	西元宗助	凡骨日誌抄（17）
			15	清水凡禿	聞光願生
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	ともしび

## 『慈光』総目次

第34巻	第10号	1982（昭和57）年10月15日	1	近角常観	親鸞聖人の真面目
			5	柳瀬留治	近角先生随聞記
			11	井上善右工門	本願力
			14	西元宗助	凡骨日誌抄
			16	田中克己	わが母の記
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	大無量寿経に聞く
第34巻	第11号	1982（昭和57）年11月15日	1	近角常観	信仰のよろこび
			6	福島政雄	晩年の親鸞聖人―毒とくすり―
			10	井上善右工門	御一代聞書讃解
			13	西元宗助	凡骨日誌抄―仏道を歩む―
			15	千葉崇憲	往生浄土について
			17	木村無相	念仏詩抄
			20	花田正夫	大無量寿経に聞く
第34巻	第12号	1982（昭和57）年12月15日	1	近角常観	信仰問題
			4	福島政雄	降魔と成道
			8	井上善右工門	念仏の道
			11	西元宗助	凡骨日誌抄
			14	東昇	人間が人間になるために
			19	木村無相	念仏詩抄
			22	花田正夫	大無量寿経に聞く
第35巻	第1号	欠号			

『慈光』総目次

第35巻	第2号	欠号			
第35巻	第3号	1983（昭和58）年3月15日	1	無記名記事	白杵祖山師物語
			2	近角常観	真愚は智なり
			8	井上善右工門	一枚起請文を仰いで(上)
			10	西元宗助	慈光日誌抄
			14	榊原徳草	一道会の記（二）
			18	木村無相	念仏詩抄
			21	花田正夫	信の旅の二つの気づき
第35巻	第4号	欠号			
第35巻	第5号	欠号			

『慈光』総目次

第35巻	第6号	欠号			
第35巻	第7号	1983（昭和58）年7月15日	1	近角常観	内愚外賢
			5	池山栄吉	父と子
			9	井上善右工門	はからい心と大悲真実
			12	西元宗助	慈光日誌抄
			15	榊原徳草	一道会の記（三）
			22	花田正夫	ともしび
第35巻	第8号	欠号			
第35巻	第9号	1983（昭和58）年9月15日	1	池山栄吉	親鸞聖人と私
			7	安波勲八	信仰体験録抄
			11	高原憲	水の味
			14	井上善右工門	青蓮華（二）
			16	西元宗助	慈光日誌抄－仏光讃嘆－
			19	花田正夫	池山先生聞き書

## 『慈光』総目次

第35巻	第10号	欠号			
第35巻	第11号	1983（昭和58）年11月15日	1	近角常観	涅槃の極果、園林の遊戯
			5	白井成充	共に是れ凡夫なるのみ
			10	柳瀬留治	耳の底にのこるもの
			15	井上善右工門	青蓮華
			18	西元宗助	慈光日誌抄
			21	花田正夫	久遠之友
第35巻	第12号	1983（昭和58）年12月15日	1	近角常観	如来の誓願の薬は能く智愚の毒を滅するなり
			7	白杵祖山	あゆみの跡
			11	安波勲八	信仰体験録
			14	井上善右工門	青蓮華（五）
			16	西元宗助	慈光日誌抄—無相さんのお手紙—
			19	花田正夫	随想断片
第36巻	第1号	1984（昭和59）年1月15日	1	近角常観	万事信なきによりてわろきなり
			6	福島政雄	求道と人生
			10	酒井演幽	病床雑記
			13	佐々木徹真	真宗聞きがたし
			15	井上善右工門	青蓮華
			18	西元宗助	慈光日誌抄
			21	花田正夫	明日への不滅の希望

## 『慈光』総目次

第36巻	第2号	1984（昭和59）年2月15日	1	近角常観	他力不思議にいりぬれば義なきを義とすと信知せり
			5	福島政雄	求道と人生（二）
			9	誉田豊吉	聞思録抄
			11	榊原徳草	一道会の記（一）
			17	井上善右工門	本願力
			20	西元宗助	慈光日誌抄
			22	花田正夫	法悦その折々
第36巻	第3号	1984（昭和59）年3月15日	1	木村無相	私の詩と信仰
			11	同上	煩惱と私
			16	岩崎成章	木村無相師の終焉
			18	西元宗助	無相さんのこと
			20	榎本栄一	木村無相さんの死
			21	榊原徳草	木村師の御法信
23	花田正夫	木村さんを悼む			
第36巻	第4号	1984（昭和59）年4月15日	1	近角常観	同朋観念と秩序精神
			6	柳瀬留治	九十を超えて
			8	榊原徳草	一道会の記（二）
			11	木村無相	「念仏詩抄」より
			13	福井新聞	木村無相『法談』
			20	西元宗助	慈光日誌抄
			23	花田正夫	仏徳の讃仰

## 『慈光』総目次

第36巻	第5号	1984（昭和59）年5月15日	1	近角常観	不思議の仏智
			4	池山栄吉	ただ念仏
			9	酒井演幽	生活断片
			11	佐々木徹真	吾子の死に思う
			14	井上善右工門	来生の開覚
			17	榊原徳草	一道会の記
			23	花田正夫	ともしび
第36巻	第6号	1984（昭和59）年6月15日	1	近角常観	真如法性身
			4	池山栄吉	ただ念仏して
			8	福島政雄	久遠の親心
			11	井上善右工門	信一念の問い
			14	岩崎成章	木村無相さんと私
			18	菊池篁三郎	法廷にて
			21	花田正夫	「三願転入」ことに「果遂の誓」
第36巻	第7号	1984（昭和59）年7月15日	1	近角常観	懺悔録（歎異抄講話）
			6	池山栄吉	“ただ念仏して”たのもしさ
			11	福島政雄	内愚外賢
			16	西元宗助	慈光日誌抄
			21	岩崎成章	無相師の御述懐より
			24	花田正夫	随感いろいろ
第36巻	第8号	1984（昭和59）年8月15日	1	近角常観	子が信仰の経過
			6	近角常音	近角常音先生日記抄
			10	柳瀬留治	近角常音先生の生涯
			15	井上善右工門	聖人の老い
			18	西元宗助	慈光日誌抄
			20	花田正夫	法蔵菩薩の三つの誓願



## 『慈光』総目次

第36巻	第9号	1984（昭和59）年9月15日	1	近角常観	信仰を得たる人の実例
			6	池山栄吉	“ただ念仏して”たのもしさ（二）
			11	菅瀬芳英	信仰書簡
			13	井上善右工門	誓願不思議
			15	西元宗助	慈光日誌抄－仏徳讃歎－
			17	岩崎成章	無相師の御実感
			21	花田正夫	生死巖頭を照らす光
第36巻	第10号	1984（昭和59）年10月15日	1	近角常観	王舎城の悲劇
			5	池山栄吉	ただ念仏して－たのもしさ－
			8	誉田豊吉	聞思録
			11	井上善右工門	功德の宝海
			14	西元宗助	慈光日誌抄
			17	長谷顕性	内愚外賢
			21	花田正夫	凡夫往生の白道
第36巻	第11号	1984（昭和59）年11月15日	1	近角常観	阿闍世王の懺悔
			8	池山栄吉	“ただ念仏して”たのもしさ（四）
			12	無記名記事	香月院語録
			14	岩崎成章	無相法語
			17	土井紀明	念仏者木村無相先生
			21	花田正夫	法喜その折り折り
			第36巻	第12号	1984（昭和59）年12月15日
4	池山栄吉	ただ念仏して－たのもしさ－			
7	井上善右工門	照しぬかれて			
9	西元宗助	慈光日誌抄			
12	誉田豊吉	聞思録抄			
15	岩崎成章	無相法語			
20	花田正夫	池山先生を憶う			

## 『慈光』総目次

第37巻	第1号	1985（昭和60）年1月15日	1	近角常観	慈愛と真実
			6	池山栄吉	ただ念仏して一たのもしさ
			10	川畑愛義	「ありそなこと」について
			11	西元宗助	慈光日誌抄
			14	岩崎成章	無相師の御手紙
			17	土井紀明	無相師の臨末法語
			18	山本晋道	共是凡夫耳
			20	花田正夫	他力をたのみ奉る悪人
第37巻	第2号	1985（昭和60）年2月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			7	池山栄吉	流念法海
			11	井上善右工門	鑄型となりて
			13	西元宗助	殊玉のお歌
			15	岩崎成章	木村無相法語
			18	山村信子	み名を杖に
			21	榊原徳草	一道会の記
第37巻	第3号	1985（昭和60）年3月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			5	池山栄吉	大いなる受入れ
			9	西元宗助	慈光日誌抄
			12	榊原徳草	一道会の記
			17	岩崎成章	自覚についての無相師の書信
			20	菅瀬芳英	信仰書簡
			23	花田正夫	御名につながるいのち

## 『慈光』総目次

第37巻	第4号	1985（昭和60）年4月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			7	池山栄吉	父と子
			11	井上善右工門	今の一步々々
			14	西元宗助	慈光日誌抄
			17	榊原徳草	一道会の記
			22	花田正夫	凡心と仏心
第37巻	第5号	1985（昭和60）年5月15日	1	近角常観	真如法性身
			4	池山栄吉	親鸞聖人と私
			10	西元宗助	他力の信心こそ大菩提心
			15	村上速水	聞法の悦び
			20	岩崎成章	木村無相師の書信（二）－自覚について－
			23	花田正夫	弥陀の誓願のたのもしさ
第37巻	第6号	1985（昭和60）年6月15日	1	近角常観	召喚の勅命
			7	福島政雄	二河喩の人生
			11	村上速水	願われている私
			16	岩崎成章	木村無相師法語
			21	花田正夫	生と死の問題
第37巻	第7号	1985（昭和60）年7月15日	1	近角常観	信心を失った人に
			5	池山栄吉	狂乱して所為多きが如し
			10	井上善右工門	知らされて有難きこと
			13	西元宗助	慈光日誌抄
			16	高千穂正史	音の無い声
			19	木村知巳	み名を聞きて
			21	花田正夫	歎異抄に導かれて

## 『慈光』総目次

第37巻	第8号	1985（昭和60）年8月15日	1	近角常観	消極と積極
			5	近角常音	『日記抄』七十歳
			9	柳瀬留治	歌集・九十を超えて
			11	酒井演幽	法灯
			14	西元宗助	慈光日誌抄
			17	岩崎成章	『お声で十分です』
			21	花田正夫	歎異抄に導かれて
第37巻	第9号	1985（昭和60）年9月15日	1	近角常観	唯仏与仏の知見
			5	白井成充	共に是れ凡夫のみ
			10	井上善右工門	黎明のよろこび
			13	西元宗助	足利浄円先生の面影
			16	木村無相	わが心地獄
			19	佐々木徹心	自照のこころ
			22	花田正夫	歎異抄に導かれて
第37巻	第10号	1985（昭和60）年10月15日	1	近角常観	宗教心は最も健全なる常識なり
			4	池山栄吉	念仏の余韻（たのもしさ）
			8	井上善右工門	生定聚の徳
			11	西元宗助	慈光日誌抄
			15	木村義文	かぎりなき大地
			19	木村無相	続・念仏詩抄
			21	花田正夫	歎異抄に導かれて（三）

## 『慈光』総目次

第37巻	第11号	1985（昭和60）年11月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰－父母因縁－
			6	福島政雄	慈光のあと
			12	井上善右工門	内から外から
			15	西元宗助	慈光日誌抄
			17	村上速水	自力から他力へ
			19	岩崎成章	木村無相師の法信（一）
			21	花田正夫	歎異抄に導かれて（四）
第37巻	第12号	1985（昭和60）年12月15日	1	近角常観	絶対他力の真教
			6	福島政雄	浦島の子
			9	井上善右工門	見敬得大慶
			12	西元宗助	慈光日誌抄
			15	酒井演幽	『法灯』－病中雑記
			18	岩崎成章	木村無相師の御法信（二）
			22	花田正夫	歎異抄第五章
第38巻	第1号	1986（昭和61）年1月15日	1	近角常観	大悲回向
			6	井上善右工門	心の住家
			9	西元宗助	慈光日誌抄
			11	榊原徳草	一道会の記
			18	岩崎成章	無相師法語
			23	幸川忠雄	源左の知恵
第38巻	第2号	1986（昭和61）年2月15日	1	近角常観	親鸞聖人の信仰
			6	白井成充	聞法録
			9	榊原徳草	一道会の記（二）
			18	岩崎成章	無相法語 “真宗的無常とは”（二）
			22	花田正夫	歎異抄第六章

## 『慈光』総目次

第38巻	第3号	1986（昭和61）年3月15日	1	近角常観	煩惱・悪業と御方便
			6	福島政雄	こころ
			10	井上善右工門	還相廻向
			13	西元宗助	慈光日誌抄
			14	村上速水	芬陀利華
			17	岩崎成章	無相法信集「私は無仏法者」
			21	花田正夫	如来は同心の最大良友なり
第38巻	第4号	1986（昭和61）年4月15日	1	法然上人	母儀に遣わさる御返事
			5	近角常観	信念の修養は実際問題に一如くは無し
			10	無記名記事	釈迦仏本生譚
			12	西元宗助	慈光日誌抄
			14	岩崎成章	無相師述「極重悪人唯称仏」
			17	清水凡禿	聞光願生
第38巻	第5号	1986（昭和61）年5月15日	2	近角常観	信仰或問
			7	無記名記事	香月院語録
			10	柳瀬留治	人生随想
			12	井上善右工門	真実世界
			15	西元宗助	慈光日誌抄－仏のみ名を聞く
			17	岩崎成章	無相法信－我れは念仏者なり
			21	花田正夫	法悦その折々

## 『慈光』総目次

続 廃刊 号	1986（昭和61）年7月15日	1	西元宗助	俱会一処の世界を念じつつ（ご挨拶）
		2	池山栄吉	ただ念仏
		7	川畑愛義	生きるも御恩・死ぬも御恩
		9	榊原徳草	和光同塵
		11	井上善右工門	本願真実に値う
		14	西元宗助	慈光日誌抄
		19	長谷顕性	二年間に親しい四人を失う
		23	岩崎成章	無相法信（自覚について）
		29	国広真量	お喚び声一つ